

主要な施策の成果報告書

はじめに

令和4年度は恵庭市をメイン会場に「第39回全国都市緑化北海道フェア（ガーデンフェスタ北海道2022）」が開催され、まちの魅力と可能性を形にする「新しい恵庭」をつくるきっかけとなる年となりました。

また、新型コロナウイルスの影響が続くなか、国と歩調を合わせたきめ細かい支援の実施や本市独自の経済対策などにより、切れ目のない感染症対策を継続するとともに、新たな社会システムへ対応するため、ICT環境の整備をはじめとする政策運営を推進することで着実にまちづくりを進めて参りました。

一方、国内外では、感染症の拡大だけでなくエネルギーや原材料価格の高騰も加わり、先が見通せない不安定な状況が続くなど、市民の暮らしや企業に大きな影響を与えた年でもあります。

財政運営の面では少子高齢化に伴う扶助費や公共施設の維持費の増大などで依然財政事情は楽観できない状況です。そのため、ふるさと納税という形で寄せられた支援などを有効に活用し、安定した市政運営と「恵庭らしさ」を活かした施策の推進を両立させることが肝要であると考えます。

こうした中、令和4年度予算編成に当たっては、「恵庭宣言」の理念を基に「輝く恵庭をつくる 令和4年度予算」として、重点施策に次の5本の柱を掲げて編成し、花と緑あふれるガーデンシティを目指して各事業を推進しました。

- 1 ウィズコロナ・ポストコロナのまちづくり
- 2 希望を持って子育てしたくなるまちづくり
- 3 誰ひとり取り残さない持続可能な共生のまちづくり
- 4 安心して住み続けることのできるまちづくり
- 5 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

この重点施策を中心に、令和4年度に実施した事務事業の主なものについて、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」をまとめましたので報告いたします。

目 次

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標01 様々な担い手によるまちづくり.....	406
●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進.....	406
●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進.....	406
目標02 時代のニーズに沿った変革.....	407
●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築.....	407
●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な 財政運営の確立.....	408
●公共施設の適正配置による機能面の充実.....	409
●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付.....	409
目標03 ともに学びともに知る情報.....	410
●市民と行政との情報共有の推進.....	410
●開かれた行政運営の推進.....	410

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標04 災害に強い地域防災力.....	412
●防災意識の普及、推進.....	412
●防災情報の的確な発信.....	412
●耐震改修の推進.....	412
目標05 支えあう消防救急体制.....	413
●消防防災体制の充実・強化.....	413
●防火安全対策の推進.....	413
●応急手当普及啓発活動の推進.....	413
目標06 安全安心の日常生活.....	414
●交通安全・防犯活動の推進.....	414
●消費生活相談事業の推進.....	415
目標07 助け合いのちを大切にすまち.....	416
●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び 地域支援の推進.....	416
●自立支援事業の推進.....	417
●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進.....	420
●骨髄等提供ドナー支援の推進.....	420
目標08 夢と健康を育むまち.....	421
●第2次健康づくり計画・第3次食育推進計画・自殺対策計画に基づく事業実施....	421
●予防接種・健康診査・がん検診の推進.....	422
●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進.....	425
●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境.....	426
目標09 持続可能な地域医療・介護体制.....	429
●夜間・休日診療体制の維持.....	429
●地域包括ケアシステムの発展.....	429
●医療費の助成.....	431
●国民健康保険・後期高齢者医療の状況.....	433

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標10 いきいきと働きやすいまち.....	435
●企業誘致環境の整備.....	435
●多様な人材を活かせる労働環境の整備.....	435
目標11 恵まれた土地を生かした農林業.....	437
●生産基盤整備の充実.....	437
●経営の強化と担い手の育成・確保.....	437

●農工商等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進.....	438
目標 1 2 暮らしを支える商業	440
●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援.....	440
●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進.....	440
目標 1 3 来てみたいまち 住んでみたいまち.....	441
●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出.....	441
●移住・定住の促進	445
●都市間交流の促進	445
 基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち	
目標 1 4 地域で育む子育て環境	446
●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討.....	446
●学童クラブ及び保育園、認定こども園における待機児童の解消.....	451
●学童クラブ支援員及び保育士等の人材確保と質の向上.....	452
●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進.....	453
目標 1 5 心豊かな思いやりをもった子どもの育成.....	454
●体験型事業の推進	454
●読書活動による子どもの育成	455
目標 1 6 子どもの自立成長を促す学校教育.....	456
●ふるさと教育の推進	456
●教育環境の整備促進	457
目標 1 7 手を取り合い創造性を育む文化芸術.....	461
●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進.....	461
●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり.....	464
 基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち	
目標 1 8 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり.....	466
●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進.....	466
目標 1 9 水と緑豊かな生活空間づくり.....	467
●水・緑など恵庭の魅力の維持	467
●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保.....	468
●防衛施設周辺整備等事業の推進	468
目標 2 0 安全で円滑な地域交通	470
●除排雪の維持	470
●身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築）.....	470
●橋梁耐震化など安全な道路網の維持.....	471
●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持.....	472
目標 2 1 安定した水供給と持続的な下水処理.....	473
●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営.....	473
●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、 安定的・持続的な上下水道事業の運営.....	473
●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、 効率的な資源・エネルギー循環の取り組み.....	474
目標 2 2 住み続けたいなるまちづくり 住まいづくり.....	475
目標 2 3 ごみの減量と適正な処理	476
●ごみ処理施設の整備・適正管理	476
●ごみの分別・収集体系の構築	476
目標 2 4 次世代へつなげる環境	477
●地域環境美化活動への支援	477
●地域に応じた自然環境の保護と管理.....	477
●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発.....	477

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標01 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」を市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。

・市民活動支援補助金（P.63）	1,362千円
まちづくりチャレンジ協働事業補助金（11団体 10事業）	1,014千円
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金（7団体 7事業）	348千円

・市民活動センター推進事業（P.63・66）

市民活動のより一層の活性化を図るとともに、町内会・自治会や市民活動団体の自主的・主体的な活動を総合的に支援する「NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会」との協働により、市民活動団体に対し、活動拠点の提供、機器貸出、情報発信などを行い、活動を支援しました。

令和5年3月末現在会員数：114（団体72 個人12 企業30）

備品貸出：226件 印刷利用：538件 ロッカー：5件 展示：16件

市民活動センター情報を回覧等により情報発信

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館維持管理・自治活動支援（P.63）

地域会館維持管理費補助金	1,217千円
会館借上費補助金 （島松東町、恵央、相生町、末広）	1,386千円
自治活動交付金	23,110千円
地域会館建物解体補助金（春日東集会所、北島中央集会所）	1,000千円

・「えにわ知恵ネット」事業（P.63）

登録団体数 106団体（団体73 個人33）

・地域担当制の実施

地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

- ・生活環境改善要望（264件）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

目標02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・第7次行政改革推進計画の推進

第7次行政改革推進計画における3本柱、「時代に即した業務手法の見直し」、「市民満足度と利便性の向上」、「健全な行財政基盤の強化」に基づき施策を推進しました。

- ・時代に即した業務手法の見直し
 - ・ICTの活用による業務改革
業務プロセスの可視化事業の検討
 - ・事務事業の見直し
第6次計画期間中からの事務事業進捗管理 5事業
令和4年度からの事務事業評価 38事業
行政評価マニュアルに基づく市民参加状況の進捗管理
- ・市民満足度と利便性の向上
 - ・効率的で質の高い窓口サービスの提供
窓口サービス推進会議において検討した内容を専門部会で情報共有
行政手続等の押印見直し推進
 - ・公民連携の推進
市民による政策提案制度の仕組み検討
- ・健全な行財政基盤の強化
公共施設等総合管理計画実施計画の進捗管理（削減目標3%）
実施計画における公有財産面積 259,680.53㎡
削減面積の累計 6,420.90㎡（△2.47%）
令和4年度削減面積 920.9㎡（売却等）

・恵庭市デジタル化推進計画の推進

- ・行政手続きのオンライン化
総務省の【自治体DX推進計画】で示された25手続きについて、電子申請システム等を活用してオンラインでの手続きを可能にしました。
- ・RPA、AI-OCRの活用業務の拡大
市民税賦課業務や法人市民税、固定資産税、軽自動車税の入力補助やデータチェック業務等に対して、令和元年度に導入したRPAシステム、AI-OCRの活用範囲を拡大することで作業時間の削減を図りました。
また、全庁向けに当該システムの説明会、研修会等を開催し、これまで活用してきた業務以外での導入を進めました。
 - ・令和4年度新規導入業務 12業務
 - ・令和4年度作業時間削減効果 710時間

・職員研修の充実

恵庭市人材育成プログラム検討委員会において、職員研修の具体的な取り組みやあり方について検討を行い、人材育成基本方針及び職員研修計画に基づき、行政評価による事務事業の見直し、行政の変革など地域課題への確に対応することができる人材の育成に努めました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により近年実施できていなかった他市との合同研修について、計画通り実施することができました。

OJT計画「職員育成計画」は、対象を新規採用職員及び採用2年目職員とし、課題解決への対応を学習し、また、市民の視点に立ったサービス提供に向けて進めています。

- ・一般研修（階層別研修外）
- ・特別研修（女性職員リーダー研修、プレゼンテーション研修外）
- ・先進都市派遣研修

・広域共同事業の推進

近隣12市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と締結している連携施策の充実拡大に関する覚書による連携事業に取り組みました。

- ・さっぽろ連携中枢都市圏への参画事業数 50事業
連携した企業誘致の促進、公立夜間中学の共同活用、圏域外からの移住促進等
- ・千歳市との連携事業数 40事業（うち、情報共有 25事業）
着手 5事業（体育施設の相互利用及び機能集約化、消防の人材育成の推進等）
実施 10事業（共同プロモーションや観光資源等の活用等の推進、職員の合同研修、有害鳥獣等の廃棄物にかかる共同処理体制の検討等）

・おくやみ窓口の設置

死亡に係る手続きが1つの窓口で行えるおくやみ窓口を令和4年度から設置しました。多数ある手続きのワンストップ化を図り、遺族の方の負担を軽減し、市民サービスが向上するようにしました。

おくやみ窓口利用者数 163名（利用率20.3%）

・恵庭市公式アプリ開発事業（P.69）

19,932千円

令和4年度は、お知らせ機能・プッシュ通知設定の運用を始めました。また、令和5年度からのポイント機能の運用開始に向け開発を進めました。

- ・アプリ登録者数 3,206人
- ・アプリ参加事業者数 110か所

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・市民意識調査の実施

市政やまちづくりに対する市民の評価、ニーズを把握し、今後の政策立案に活用するため、市民意識調査を実施しました。

対象：16歳以上80歳未満の市民2,000名（無作為抽出）

回収方法：郵送及びWEB回答

回収数：842（郵送639、WEB203）

設問項目：ごみ袋について、環境について、住まいについて、市公式アプリ「えにわか」について、住宅防火について

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納及びスマホアプリ【PayPay、LINE Pay】による納付を実施し、曜日や時間を問わない収納を行い、継続して納付方法の多様化による利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税 (普徴)		固定資産税・都市計画税		軽自動車税種別割		国民健康保険税			
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4		R3	
1期(6期)	75.7%	75.7%	83.8%	84.0%	83.8%	82.7%	80.0%	(83.2%)	79.7%	(82.9%)
2期(7期)	77.8%	77.8%	87.1%	86.9%	/		80.7%	(81.7%)	80.1%	(83.2%)
3期(8期)	76.4%	73.0%	89.9%	87.6%			83.9%	(84.6%)	82.7%	(83.6%)
4期(9期)	79.2%	79.0%	91.2%	91.2%			83.9%	(85.9%)	82.3%	(83.3%)
5期(10期)							83.8%	(87.3%)	82.3%	(86.0%)
期別計	77.3%	76.4%	88.0%	87.4%			83.8%	82.7%	83.4%	
前年比	+0.9ポイント		+0.6ポイント		+1.1ポイント		+0.8ポイント			
コンビニ	42.0%	38.3%	23.8%	21.3%	55.0%	51.2%	23.6%		21.6%	
アプリ	3.9%	3.1%	2.1%	1.8%	2.4%	1.5%	1.4%		1.2%	
クレジット	-	1.6%	-	1.5%	-	2.7%	-		0.3%	

※コンビニ、スマホアプリ、クレジットの納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合
 ※クレジット納付は令和4年度は未対応、令和5年度より対応再開

●公共施設の適正配置による機能面の充実

・複合施設の利用促進

市民活動の拠点「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」

貸部屋数13か所 来館者数304, 192人 各室利用人数72, 751人

●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付

・マイナンバーカードの交付円滑化事業 (P.83)

予約制、休日・平日夜間交付窓口の開設を継続したほか、出張申請支援などマイナンバーカードの円滑な申請・交付を図り、市民の利便性が向上する取り組みを実施しました。また、マイナポイント申込支援窓口を設置しました。

休日・平日夜間交付窓口の開設 休日30日、平日夜間72日

出張申請サポートイベントの実施 26回 申請2, 275件

マイナンバーカード交付率 69.7% (令和4年度末現在)

マイナンバーカード交付数 15, 556枚 (累計48, 861枚)

マイナポイント申込支援人数 10, 841件

コンビニ交付サービス利用件数 7, 957件 (令和3年度 5, 337件)

目標03 ともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実 (P.59)

18,942千円

広報えにわ及びくらしのカレンダー発行 404,035部 (月平均33,670部)

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用 (P.59)

6,666千円

恵庭市からのお知らせ 月～金曜日各日3回(閉庁日除く)

土曜日1回、日曜日1回、月～金曜日同日再放送あり

恵庭タウンガイド 月～木曜日各日1回(閉庁日除く)

生活環境課からのお知らせ 週3回

みんなで地域防災 毎週金曜日1回

保健センターからのお知らせ 毎週木曜日1回

イベント放送(職員の声) 年2回

メール配信 月2回

・出前講座の実施

実施件数 131回 受講者数 4,085人

・市公式SNSでの情報発信

既存の市公式Facebookを運用する他、生活情報やイベント情報を広く伝えるため、市公式Twitterを令和4年12月から開設しました。

・暮らしの便利帳、えにわめぐりマップ、市勢要覧の発行 (P.59～P.60) 4,082千円

転入者向けに生活情報をお知らせする「暮らしの便利帳」及び「えにわめぐりマップ」を更新しました。また、市外に対し恵庭市の魅力や市の施策などを紹介するため、市勢要覧を更新しました。

●開かれた行政運営の推進

・広聴活動

市民生活に関する相談窓口の充実を図るため、庁内をはじめ関係機関と連携しながら、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声(苦情・相談など) 20件

弁護士法律相談 36回 194人

司法書士法律相談 4回 12人

人権委員・行政委員相談 3回 9人

総合行政相談 2回 3人

・市民の広場の実施

開催テーマ:「みんなで語ろう、市民活動」

開催日:8月3日 市民会館 参加者37団体56名

ワークショップ、グループ発表、市長との意見交換を行いました。

・パブリックコメントの推進

パブリックコメント実施状況（4案件、1名、意見数1件）

パブリックコメントへの意見数が少ない近年の状況を踏まえ、パブリックコメントへの市民参加の促進に資する効果的な運用手法等について、全庁的な協議を行い制度のあり方について検討を進めました。

・市議会に関する市民アンケートの実施（P.50）

459千円

市民に開かれた議会の構築に向けた取組として、市民の様々な声を議会活動に反映させるため、市議会・議員に関するアンケート調査を実施しました。

期間：令和4年9月16日～10月8日

対象：18歳以上90歳以下の市民2,400名（無作為抽出）

回収：632件

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標04 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくり、自然災害対応を見据えた強靱化の推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・各防災計画の推進 (P. 154~155)

災害時における、避難行動要支援者名簿の整備を進めるとともに、円滑な避難支援実施に向けて、情報提供に同意された方の名簿は、警察・消防・町内会等の関係機関へ提供しました。

また、防災組織づくりのための出前講座や学習会を実施するなど、市民啓発活動を積極的に実施しました。

・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿： 713名 (情報提供同意者)

災害時名簿： 1,638名

・出前講座の実施 34回開催、約1,900人参加

・防災学習会の実施 1回開催 (恵み野北町内会、恵み野東町内会合同開催)

・一日防災学校の実施 5回開催 (恵み野中340名、柏陽中300名、恵庭中420名、恵庭南高44名)

・自主防災組織等活動支援助成金 (P. 155)

282千円

地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の活動に対し、経費の一部を助成しました。

・令和4年度末 自主防災組織 42組織 (昨年度末42組織)

・防災訓練等助成16件

・災害用物資備蓄品整備事業 (P. 154~155)

4,073千円

「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の備蓄を計画的に整備しました。

・食料7,583食、紙おむつ2,532枚、簡易トイレ4,900個等

●防災情報の的確な発信

災害時において的確に防災情報を発信できる体制を確保するため、防災行政無線の更新整備を令和3・4年度にかけて行いました。

・無線放送施設整備 (P. 54)

302,999千円

防災行政無線更新工事

基地局、親局、遠隔制御局2台、屋外拡声子局55か所、戸別受信機856台、

非常用自家発電機、可搬型緊急親局

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進 (P. 139)

・平成22年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始

令和4年度実績：診断 8件、改修 0件

目標05 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防防災体制の充実・強化

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防・救急車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新 (P. 150・152～154)

- ・消火栓更新整備事業 21基 7,964千円
- ・はしご付消防ポンプ車更新整備事業 1台 29,173千円 (令和4年度分)
*リース期間 平成29年2月1日～令和9年1月31日
- ・消防連絡車整備事業 1台 2,786千円
- ・消防支援車整備事業 1台 8,150千円
- ・高規格救急自動車更新整備事業 1台 39,170千円
- ・消防用資器材整備事業 1式 3,661千円
- ・消防団資器材整備事業 1式 2,144千円
- ・消防吏員防火衣等更新整備事業 33式 8,313千円
- ・学生消防サポーター制度 令和4年度 231名登録
- ・消防庁舎改修整備事業 11,825千円

感染症への対策として救急拠点施設である本署、島松・南出張所に消毒室の整備を行います。また、両出張所には不足している仮眠室の整備を行うことで、消防体制の強化を図ります。

令和4年度 実施設計委託 令和5年度 改修整備工事

・メディカルコントロール体制の充実 (P. 150)

救急救命士の研修及び病院実習を実施し、特定行為を実施するために必要な資格の取得と隊員の知識、技術向上を図り、救急体制の向上に努めました。

●防火安全対策の推進

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・令和4年度末設置率：74.0% (昨年度末75.0%)
- ・推進活動：出前講座の実施 6回
- ・防火対象物立入検査 223件

●応急手当普及啓発活動の推進

・応急手当普及啓発活動の推進 (P. 152)

- ・バイスタンダー養成等の救急救命講習会の実施
開催状況 上級 (1回・3人) 普通 (57回・448人) 一般 (10回・160人)
救命入門 (30回・935人)
- ・小学校6年生への救命講習の実施
市内全小学校 受講者総数596名 (令和4年度)
- ・市職員への救命講習の実施
受講者総数 98名 (令和4年度)

・AEDの普及・促進 (P. 152)

- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数 (令和4年度末)：243施設

目標06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき、地域や関係団体、警察署と連携をとりながら各種事業や運動を展開し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の未然防止に努めました。また、防犯協会を中心に地域単位での防犯組織づくりを進めるとともに、防犯施設の整備促進など防犯体制の強化に努めました。

・自主防犯活動の促進（P.62）

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 歳末警戒巡回パトロール及び地域安全運動の実施

令和4年12月21日、22日に金融機関、コンビニ、駅にて実施

3) 青色回転灯車によるパトロール及び防犯パレードの実施

・防犯灯等の設置状況（P.62）

586千円

令和4年度新設設置状況 防犯灯 15箇所（廃灯 3箇所）

・防犯カメラ設置補助（P.62）

160千円

令和4年度設置補助金 1町内会、1台設置

・交通安全啓発活動の実施（P.60～61）

1) 人身事故発生状況（各年12月末現在）（人）

区分 年	発生件数	負傷者	死者
R4年	98	108	1
R3年	101	122	0
比較	△3	△14	1

2) 交通安全啓発事業

- ・交通安全警戒・注意等の看板の設置 16基
- ・交通安全運動の実施 4期（4月・7月・9月・11月）40日
- ・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、恵庭北高校1回、恵庭南高校3回
- ・交通公園利用実績 団体利用2, 339人、個人利用9, 231人
- ・ドライブシミュレータを活用した高齢者安全講習2回
- ・自転車シミュレータを活用した安全運転診断1回
- ・交通安全教室の開催 (人)

区分	幼稚園・保育園・認定こども園	小学校	老人クラブ	町内会等	合計
回数	69	43	1	1	114
参加人員	4,146	3,259	40	10	7,455

3) 運転免許証自主返納出張窓口の開設

開設回数12回、免許証返納者数104人

4) 交通指導員の活動

・交通安全指導員（13名）

4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施

・交通安全児童指導員（10名）

市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業 (P. 143)

12, 210千円

・区画線塗布工事

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R4年度	26,173	28,971	920	348
R3年度	28,309	28,907	856	115
比 較	△2,136	64	64	233

●消費生活相談事業の推進

特殊詐欺や悪質商法等の消費トラブルなどに迅速・的確に対応するため、有資格者による消費生活専門相談員を配置し、消費者の保護、被害の未然防止を図りました。また、消費者協会と連携し消費者被害防止セミナーを開催するなど正しい情報や知識を広く市民に提供し、自己防衛のできる消費者の育成を図りました。令和4年度から、通話録音機能等の特殊詐欺防止機能付き電話機等の導入費用を補助する制度として「特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金」を創設しました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施 (P. 62)

6, 763千円

消費生活相談業務

区 分	R4年度	R3年度	増 減
相談件数	405	384	21

(相談内訳)

区 分	契約・金銭 トラブル	サイト 登録等	通信販売	勧誘 訪問販売	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	91	19	122	40	6	19	108	405

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
高齢者等消費者教育について	5回	135人

- 1) パネル展の開催 6回
- 2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・LPガス)
調査回数：毎月1回
調査地区：16店舗
- 3) 試買量目調査の実施状況
実施回数：年1回
調査品目：生鮮食料品 6品目
調査地区：9店舗
- 4) 消費者被害防止セミナー開催
テーマ：「特殊詐欺被害事例と防止対策について」「キャッシュレスって何？」
参加者：46人
- 5) 市内街頭啓発の実施 年6回
- 6) 消費者被害防止ネットワークの推進 情報発信12件

・特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金 (P. 63)

495千円

補助金交付件数：51件 (1件につき上限1万円)

・無料法律相談の実施 (P. 60 目標03に別掲)

1, 188千円

弁護士法律相談	36回	194人
司法書士法律相談	4回	12人

目標07 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び地域支援の推進 (P. 93・100～102)

・児童通所支援等福祉サービス

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R4年度	8,407	179	92,944	25,092	208	253,577	86	5	1,024
R3年度	6,618	147	68,354	21,417	177	215,979	45	5	465
比較	1,789	32	24,590	3,675	31	37,598	41	0	559
区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R4年度	0	0	0	482	10	14,115	376	5	2,408
R3年度	0	0	0	473	11	14,286	437	6	3,303
比較	0	0	0	9	△1	△171	△61	△1	△895
区 分	居宅訪問型児童発達支援事業								
	利用回数	実人員	金額(千円)						
R4年度	17	1	167						
R3年度	0	0	0						
比較	17	1	167						

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R4年度	1,073	8	4,439	0	0	0
R3年度	883	8	3,538	8	1	91
比較	190	0	901	△8	△1	△91
区 分	日中一時支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R4年度	30	1	38	44	1	552
R3年度	27	2	35	58	3	724
比較	3	△1	3	△14	△2	△172

・子ども発達支援センター事業

(延人数)

区 分	障がい児通所支援			市町村中核子ども発達支援センター事業				
	児童発達支援	保育所等 訪問支援	居宅訪問型 児童発達支援	センター 基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達 支援教室	巡回発達 相談
					1歳6ヵ月 健診	3歳児 健診		
R4年度	3,579	65	15	124	38	37	120	31
R3年度	3,573	44	0	97	30	45	74	27
比較	6	21	15	27	8	△8	46	4
区 分	相談支援事業		小児神経医に よる発達相談	合 計				
	障がい児 相談支援	特定相談支援						
R4年度	901	72	41	5,023				
R3年度	718	70	44	4,722				
比較	183	2	△3	301				

●自立支援事業の推進 (P. 88~92・94~98・110)

- ・ボランティア活動推進事業 市補助 950千円
- ・認知症高齢者対策事業 市補助 186千円
- ・民生・児童委員連絡協議会活動の促進 市補助 11,126千円
- ・障がい者就労支援事業の推進
農福連携による就労機会の提供
延参加者数 2,506人

- ・障がい者自立支援事業の推進
障がい者施設系サービス (自立支援給付)

区 分	居住系サービス		日中活動系サービス					合 計	
	施設入所 支援	共同生活援助 (グループホーム)	生活 介護	就労移行 支援	就労 継続A	就労 継続B	自立 訓練	実人員	金額(千円)
R4年度	90	143	208	33	76	301	4	855	1,438,159
R3年度	90	122	207	35	68	277	4	803	1,369,047
比較	0	21	1	△2	8	24	0	52	69,112

※人員は新体系の利用者で居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれの人数に計上

※利用人員は、年度直近(2月末現在)

・地域活動支援事業の実施

区 分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
R4年度	1	2,502
R3年度	1	2,411
比較	0	91

・在宅支援サービスの状況

1)身体障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			日中一時支援事業(ケア型)			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R4年度	5,924.5	31	29,758	0	0	0	73	3	2,657
R3年度	6,219.0	33	32,020	0	0	0	60	4	2,038
比較	△294.5	△2	△2,262	0	0	0	13	△1	619

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R4 年度	685.5	14	3,749	450	9	4,274
R3 年度	1,027.5	16	5,705	307	11	2,516
比 較	△342.0	△2	△1,956	143	△2	1,758

3) 精神障がい者支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R4 年度	989.5	14	5,560	180	3	1,173
R3 年度	494.5	11	2,629	18	2	171
比 較	495.0	3	2,931	162	1	1,002

区 分	就労継続 A			就労継続 B			就労移行		
	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R4 年度	7,007	44	52,226	16,628	132	146,949	1,626	16	18,913
R3 年度	6,458	36	54,425	16,088	124	122,296	1,454	17	15,345
比 較	549	8	△2,199	540	8	24,653	172	-1	3,568

4) 精神障がい者地域活動支援センター等通所交通費助成

区 分	通所施設数	実人員	助成日数
R4 年度	19	32	3,747
R3 年度	16	24	2,495
比 較	3	8	1,252

5) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R4 年度	940	37	3,183	97	14	165
R3 年度	1,058	39	2,080	141	10	524
比 較	△118	△2	1,103	△44	4	△359

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度 心身	発達	高次 脳機能	難病等 その他	総計	障がいの 重複分	重複 除く計
		R4 年度	相談実件数	153	567	611	8	167	25	101	1,632
相談延件数	405		1,900	2,403	22	492	85	217	5,524	601	4,923
R3 年度	相談実件数	130	479	601	3	142	13	101	1,469	191	1,278
	相談延件数	561	2,455	3,345	6	489	50	367	7,273	768	6,505
比 較	相談実件数	23	88	10	5	25	12	0	163	16	147
	相談延件数	△ 156	△ 555	△ 942	16	3	35	△ 150	△1,749	△167	△ 1,582

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日あたりの利用者数平均
福 住	2,051	293	7
和 光	9,181	293	31
大 町	6,282	293	21
柏 陽	8,854	293	30
恵み野	13,084	293	44
島 松	12,851	294	43
東恵庭	1,385	293	4
合 計	53,688	2,052	180

- ・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 329人(75歳以上) 1人1,235円
- ・老人健康ハイキング 21クラブ 241名参加
- ・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 32クラブ 1,542千円
- ・敬老祝品贈呈事業 77歳639人、100歳22人 計2,563千円
- ・福祉バスの運行 運行日数202日 利用者数4,951人
- ・高齢者健康増進事業

当該年度の1月1日時点において満75歳以上かつ、前年中に介護保険法（平成9年法律第123号）に規定するサービス提供を受けていない方に対し、2,000円/人の健康増進助成券を配布し、高齢者の健康維持を図りました。

交付対象者数7,331人 利用率71.9%（52,727枚/73,310枚）

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
R4年度	759	976
R3年度	752	957
比 較	7	19

区 分	R 4 年 度		R 3 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,244	448,697	9,969	434,929	275	13,768
住宅扶助	10,471	211,428	10,084	202,781	387	8,647
教育扶助	723	6,323	650	6,026	73	297
介護扶助	2,275	21,451	2,270	21,502	5	△51
医療扶助	10,149	812,972	9,971	802,016	178	10,956
生業扶助	253	3,052	247	2,972	6	80
葬祭扶助	10	3,957	13	3,158	△3	799
出産扶助	-	-	2	406	△2	△406
施設事務費	-	65	-	-	-	65
就労自立給付金	5	293	14	637	△9	△344
進学準備給付金	3	700	3	500	0	200
合 計	34,133	1,508,938	33,223	1,474,927	910	34,011

・ケアラー支援推進事業 (P. 89)

令和4年度実施実績

- ・重層的支援及びケアラー支援推進事業調整会議 (内部検討会) 4回実施
- ・恵庭市重層的支援及びケアラー支援検討会 (外部検討会) 2回実施
- ・ケアラー実態調査実施 (令和5年2月6日～令和5年2月28日)
- ・ヤングケアラー講演会実施 (令和5年2月27日、市内学校や相談事業所を対象) 50名参加

令和5年度実施予定

- ・ケアラーシンポジウム開催
- ・ケアラー支援条例及び計画の原案作成
- ・周知及び啓発用チラシの作成

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業 (P. 73)

189千円

- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 1回 (3月)
- ・パネル展示の実施
男女共同参画推進週間 (6月 恵庭駅西口空中歩廊)
女性に対する暴力をなくす運動 (11月 恵庭駅西口空中歩廊)
- ・男女共同参画フォーラム コロナ禍の影響により中止
- ・啓発事業
デートDV啓発ポスター・パンフレットの作成、ポスターの掲示、パンフレット等の配布、Facebookを活用した周知活動
- ・キャッチフレーズ募集事業
市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、内閣府で募集するコンテストに応募すると共に、応募があったものを啓発に活用
- ・恵庭市男女共同参画推進協議会に係る事務支援
 - ・役員会 5回参加
 - ・定期総会・講演会に係る事務支援 参加者：総会22名参加、講演会37名参加
 - ・事例発表会に係る事務支援 参加者：19名参加

●骨髄等提供ドナー支援の推進

・骨髄等提供ドナー支援制度調査及び普及事業 (P. 111)

500千円

骨髄・末梢血幹細胞の提供となった市民を対象とした助成制度導入に向けて、講演会の開催とあわせて、より多くの方がドナー登録できるよう提供しやすいドナー休暇制度の普及啓発など環境づくりを進めました。

- ・実態調査：骨髄ドナー休暇制度等に関する実態調査 35社より回答
- ・先進地視察：愛知県豊田市、豊橋市 (ドナー支援助成事業の開始経緯や活動内容を視察)
- ・普及啓発：令和4年11月、骨髄等移植に関する普及啓発セミナーを開催
私たちのまちで骨髄ドナー助成制度を考える会と共催 参加人数：51名

目標08 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●第2次健康づくり計画・第3次食育推進計画・自殺対策計画に基づく事業実施 (P. 112~114・234~236)

・健康教育・健康相談事業の充実

区 分	健康増進事業		出前講座・授業 普及啓発		ハルディックウォーキング 講習会		健康相談	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	延人員
R4年度	7	128	120	4,178	4	75	753	1,550
R3年度	6	135	159	3,803	4	43	589	1,154
比 較	1	△7	△39	375	0	32	164	396

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数	休憩所数	休憩所利用者数
R4年度	1,884	31	2,966
R3年度	2,332	43	2,362
比 較	△448	△12	604

・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R4年度	2	10	1	28	1	3
R3年度	0	0	1	33	2	4
比 較	2	10	0	△5	△1	△1

・歯科口腔保健普及啓発事業 ※R2~R4 コロナ禍の影響により中止

区 分	歯科医師健口教室	
	回数	人数
R4年度	0	0
R3年度	0	0
比 較	0	0

・こころの健康づくり普及啓発

区 分	講演・学習会		ゲートキーパー養成講座		出前講座		パネル等展示	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	日数
R4年度	1	24	1	19	1	21	8	133
R3年度	1	34	0	0	3	188	7	160
比 較	0	△10	1	19	△2	△167	1	△27

・こころの健康相談

区 分	電話相談/メール		来所相談		訪問		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R4年度	43	149	10	22	3	6	56	177
R3年度	29	149	12	32	2	20	43	201
比較	14	0	△2	△10	1	△14	13	△24

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	介護予防普及啓発事業								地域介護予防活動支援事業					
	講演会		高齢者健康づくり教室		老人クラブ健康教育		えにわウェルカム75		百歳体操サポーター養成講座			サロン支援		
	回数	人員	回数	延人員	回数	人員	回数	人員	回数	実人員	延人員	回数	延人員	
R4年度	2	196	6	167	31	561	6	101	6	40	67	24	393	
R3年度	1	59	4	68	20	413	5	60	5	35	59	29	452	
比較	1	137	2	99	11	148	1	41	1	5	8	△5	△59	

区 分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		70歳訪問		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R4年度	2	20	0	0	219	243	32	60
R3年度	3	16	2	6	267	297	32	63
比較	△1	4	△2	△6	△48	△54	0	△3

●予防接種・健康診査・がん検診の推進

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R4年度	22	0	0	0
R3年度	33	0	0	0
比較	△11	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG接種	四種混合	不活化ポリオ	二種混合 (11~13歳未満)	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
R4年度	424	1,676	0	477	0	0	944	1,723
R3年度	451	1,804	0	458	0	0	986	1,811
比較	△27	△128	0	19	0	0	△42	△88

区 分	小児用肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B型肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)	風しんの追加的対策	
								抗体検査	予防接種
R4年度	1,720	523	842	2,436	1,280	10,466	617	190	29
R3年度	1,810	149	821	2,036	1,350	9,623	585	364	59
比較	△90	374	21	400	△70	843	32	△174	△30

区 分	ロタウイルス (ロタテック)	ロタウイルス (ロタリックス)
R4 年度	822	273
R3 年度	903	294
比 較	△81	△21

○子宮頸がんは国の通知に基づき、R4.4より受診勧奨再開及びキャッチアップ接種開始

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	受診者数	C型陽性	B型陽性
R4 年度	42	3	400	0	1
R3 年度	41	5	417	0	3
比 較	1	△2	△17	0	△2

○「要精検」「発見がん」の件数については、令和3年度は実績値、令和4年度は令和5年5月末現在

○子宮がん検診は、頸部・体部
※がん検診推進事業分含む

区 分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん検診（読影）			肺がん検診（喀痰）	
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精密検査者数
R4 年度	1,647	111	3	2,218	140	6	1,996	68	2	37	0
R3 年度	1,577	148	3	2,178	184	7	1,965	82	2	25	0
比 較	70	△37	0	40	△44	△1	31	△14	0	12	0

区 分	子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R4 年度	821	27	1	933	56	5
R3 年度	848	23	0	996	38	1
比 較	△27	4	1	△63	18	4

区 分	歯周疾患検診				
	受診数	妊婦	節目	要指導数	要精検者数
R4 年度	286	80	206	56	194
R3 年度	247	70	177	65	141
比 較	39	10	29	△9	53

・妊産婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診 助成数	超音波検査 助成数	産婦健診 助成数
	受診人数	助成数			
R4 年度	659	6,605	4,560	2,045	635
R3 年度	715	7,289	5,017	2,272	666
比 較	△56	△684	△457	△227	△31

・妊産婦健康診査通院費の助成

区分	交付数	助成回数
R4 年度	304	2,941

※令和4年度からの新規事業

・産後ケア事業

区 分	実数	延数	利用実績
R4年度	9	15	27泊・延長3回
R3年度	8	10	20泊・延長2回
比較	1	5	

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マタニティマークストラップ）

区 分	配布数
R4年度	377
R3年度	415
比較	△38

・特定不妊治療費用の助成

区 分	件数
R4年度	11
R3年度	47
比較	△36

・子育て世代包括支援センター事業

区 分	相談件数			セルフプラン作成件数					支援プラン作成件数
	来所	電話	計	妊娠期	産後期	乳児期	幼児期	計	
R4年度	95	125	220	424	412	475	19	1,330	165
R3年度	14	29	43	443	419	606	71	1,539	139
比較	81	96	177	△19	△7	△131	△52	△209	26

※相談件数は、令和4年度より保健センター分とCoconet えにわの相談合計に集計方法変更
令和3年度までは、Coconet えにわ直通携帯電話分のみを集計

・母子保健指導

区 分	赤ちゃん家庭訪問	養育支援家庭訪問		乳幼児相談日		来所相談	妊婦教室 両親教室	
	訪問世帯数	実数	延数	回数	件数	件数	回数	人数
R4年度	420	57	83	12	212	95	8	52
R3年度	430	44	62	12	228	57	3	25
比較	△10	13	21	0	△16	38	5	27

区 分	育児教室		子育て講話		思春期保健		5歳児相談
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数
R4年度	6	69	9	88	7	669	25
R3年度	5	69	7	63	6	189	20
比較	1	0	2	25	1	480	5

・歯科保健対策の実施
（う歯予防）

区 分	フッ素塗布者数
R4年度	395
R3年度	172
比較	223

・乳幼児健康診査事業の実施
（乳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察
R4年度	874	9	237
R3年度	913	10	173
比較	△39	△1	64

（先天性股関節脱臼検診）

区 分	受診者数	有所見	要治療
R4年度	375	9	0
R3年度	415	3	0
比較	△40	6	0

(新生児聴覚検査)

区 分	受診者数	要精検
R4年度	393	4
R3年度	448	5
比較	△55	△1

(1歳6か月児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R4年度	478	8	157	491
R3年度	442	7	122	356
比較	36	1	35	135

(3歳児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R4年度	461	27	151	460
R3年度	470	42	138	424
比較	△9	△15	13	36

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P.196~197・211~212)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	2,671	28,468	185	2,917	2,856	31,385
R3年度	2,507	26,422	107	1,691	2,614	28,113
比較	164	2,046	78	1,226	242	3,272

(後期高齢者医療健康診査・脳ドック・歯科健診の状況)

区 分	健康診査		脳ドック		歯科健診		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	1,152	12,792	136	2,164	162	725	1,450	15,681
R3年度	944	10,216	100	1,594	145	649	1,189	12,459
比較	208	2,576	36	570	17	76	261	3,222

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため国民健康保険の保健事業、介護予防事業と一体的に高齢者の保健事業に取り組みました。

・ハイリスクの高齢者に対する個別的支援 (ハイリスクアプローチ)

区 分	生活習慣病重症化予防		低栄養・フレイル予防		健康状態不明者家庭訪問	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R4年度	40	44	74	76	11	13
R3年度	27	34	56	69	24	36
比較	13	10	18	7	△13	△23

・通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)

前年度に引き続き、保健師や栄養士、歯科衛生士によるフレイル・低栄養・オーラルフレイル予防に関する講話を行ったほか、フレイル予防を目的とした高齢者健康づくり教室(プレミアム健康度チェック)を実施しました。また、年度内に75歳に到達する人を対象に、後期高齢者医療制度の説明や、フレイル予防を目的とした健康講話、身体測定等を行う「えにわウェルカム75」事業を実施しました。

・シンポジウムの実施

事業開始3年目の節目として「恵庭市保健事業と介護予防の一体的実施シンポジウム」を実施しました。

来場者：352人

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 118)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大会名	開催日	会場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	10/2	はなふる、漁川河川敷	663
少年少女ミニバレー大会	中止	-	0
恵庭クロスカントリースキー大会	2/19	畜産共進会場	541
市民スポーツ大会 (13大会)	通年	市内体育施設他	1349
合計	-	-	2,553

・各種スポーツ機会の提供 (P. 118)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事業名	期間/回数	会場	参加人数
フィットネスエクササイズ*	通年 44回	総合体育館	1,287
各種スポーツ実技指導*	通年 271回	総合体育館他	6,956
スポーツ少年団スポーツテスト会	8/2・1/21	総合体育館	303
合計	-	-	8,546

※指定管理者委託事業

・スポーツ団体の育成・強化 (P. 119)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況

(単位：団体、人)

区分	体育協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R4年度	22	1,883	31	947
R3年度	22	1,911	34	935
比較	0	△28	△3	12

2) スポーツ振興基金運用事業

(単位：人、団体)

区分	対象者		種目
	個人	団体	
国際大会	0	0	
全国大会	19	15	陸上、バレーボール、卓球、空手道、テニス、サッカー、新体操、バスケットボール他
高校総体	3	1	水泳、スキー
高校選抜	2	11	卓球、バトミントン、テニス、チアダンス、空手道、野球、スキー
国民体育大会	1	9	卓球、陸上、バレー、スキー、空手、剣道
全道大会	7	24	陸上、バレーボール、卓球、空手道、テニス、サッカー、新体操、バスケットボール他
合計	32	60	

・屋内体育施設の整備充実 (P. 119)

1) 屋内体育施設の維持補修事業

22,942千円

- ・総合体育館アリーナ床研磨等改修
- ・屋内体育施設備品購入

(総合体育館：移動型得点表示盤施設、卓球台 島松体育館：卓球台)

2) 屋内スポーツ施設等利用状況

(単位：人)

区 分	R4 年度		R3 年度		比 較
	個 人	団 体	個 人	団 体	
総合体育館	58,397	48,465	45,773	53,782	7,307
島松体育館	10,394	21,183	6,481	16,614	8,482
駒場体育館	4,360	16,377	2,498	11,198	7,041
福住屋内運動広場	3,656	14,524	1,855	12,805	3,520
合 計	177,356		151,006		26,350

※団体の利用状況に大会を含む

3) 学校開放事業の利用状況

(単位：団体、人)

区 分	R4 年度	R3 年度	比 較
利用団体数	116	117	△1
利用者数	30,434	21,459	8,975

・屋外体育施設の整備充実 (P. 118~120)

1) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	R4 年度	R3 年度	比 較
恵庭公園野球場	8,984	5,196	3,788
恵み野中央公園野球場	6,257	4,843	1,414
かしわ公園野球場	2,273	1,134	1,139
恵庭公園庭球場	9,348	7,009	2,339
恵み野中央公園庭球場	6,321	4,848	1,473
中島公園庭球場	7,048	5,237	1,811
ふるさと公園庭球場	1,012	789	223
めぐみの森公園庭球場	78	60	18
あやめ緑地公園庭球場	133	151	△18
恵庭公園陸上グラウンド	7,621	5,282	2,339
恵庭公園球技場	8,686	8,070	616
島松屋外運動場	3,137	4,743	△ 1,606
市民スケート場(夏期)	2,300	608	1,692
市民スキー場(夏期)	0	0	0
市民スケート場(冬期)	11,402	7,675	3,727
市民スキー場(冬期)	9,782	9,784	△2
島松スケート場(冬期)	6,275	5,338	937
恵庭中央パークゴルフ場	19,226	14,856	4,370
漁川カワセミパークゴルフ場	8,310	6,831	1,479
漁川アイリスパークゴルフ場	4,913	3,415	1,498
島松パークゴルフ場	3,134	2,068	1,066
北栄会館パークゴルフ場	510	391	119
合 計	126,750	98,328	28,422

2) 市民水泳プール利用状況

コロナ禍の影響により R2～R4 開設なし

3) 恵庭南高校水泳プール利用状況 コロナ禍の影響により R2～R3 開設なし

区 分	R4 年度	R3 年度	比 較
利用者数	124	0	124

目標 09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持 (P. 113)

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R4 年度	66	449	50	135	359	723	1,307
R3 年度	66	494	51	160	359	784	1,438
比 較	0	△45	△1	△25	0	△61	△131

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所 1 か所、救急告示病院 3 か所、消防署 1 か所

●地域包括ケアシステムの発展 (P. 90・230～231・236～237)

・高齢者の状況

区 分	令和 5 年 3 月末	令和 4 年 3 月末
総 人 口	70,069 人	70,033 人
高齢者数	20,028 人	19,899 人
高齢化率	28.6 %	28.4 %

・審査会の状況

	R4 年度	R3 年度
審査会回数	55 回	46 回
審査件数	2,152	1,627
審査件数/回	39 件	35 件

・要介護認定等の状況(第 1 号被保険者)

認定者数 (令和 5 年 3 月末)

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	589	519	684	511	309	322	235	3,169

・介護保険サービスの利用状況(第 1 号被保険者)

居宅サービス受給者数 (令和 5 年 3 月審査分)

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	262	322	523	370	174	114	62	1,827

施設サービス受給者数 (令和 5 年 3 月審査分)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	計
人 数	97	199	37	18	351

地域密着型サービス受給者数 (令和 5 年 3 月審査分)

区 分	地域密着型サービス
人 数	553

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料(円)	被保険者数	割合
第1段階	11,500	3,685	18.7%
第2段階	17,200	1,847	9.3%
第3段階	31,600	1,532	7.8%
第4段階	48,900	2,416	12.2%
第5段階	57,600	2,512	12.7%
第6段階	72,000	2,319	11.7%

所得段階	保険料(円)	被保険者数	割合
第7段階	74,800	3,307	16.7%
第8段階	86,400	1,238	6.3%
第9段階	100,800	413	2.1%
第10段階	106,500	492	2.5%
計		19,761	100%

・保険料の収納状況

	R4年度	R3年度
収納率	99.90%	99.92%

・保険料の減免状況

人数	減免額
7	328,100円
うち新型コロナウイルスに係る減免	
4	296,500円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置(利用者負担のうち1/4を軽減)

対象者数 55人 経費 1,844千円

・高齢者相談支援事業

区分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	638	809

・地域包括支援センターの設置

(高齢者相談事業)

区分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	213	972	262	1,268	148	664	203	1,028	826	3,932
総合事業対象者	70	631	66	637	34	637	21	318	191	2,223
要支援者	276	3,477	256	3,338	166	3,029	148	4,592	846	14,436
要介護者	57	322	61	566	23	288	56	674	197	1,850
障がい者	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	617	5,405	645	5,809	371	4,618	428	6,612	2,061	22,444

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用数
配食サービス事業	193人	29,627食
外出支援サービス事業	110人	2,028回
訪問理美容サービス事業	15人	56回
除雪サービス事業	495世帯	9,075回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数 299 台
- ・訪問サービス事業 利用者数 8 人、配布した乳酸飲料 322 本
- ・有償サービス事業（なんもだよ） 利用者数 35 人 利用回数 61 回

・家族介護支援事業の推進

事業名	実施概要
家族介護者交流事業	合同交流：開催回数4回 参加者数42人 随時交流：12回 参加者数85人
家族介護用品支給事業	利用者数 39人
介護支援専門員支援事業	利用件数 35件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 10件 市長申立0件

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成 (P. 97)

(受給者数)

区分	身障者	3級外部	知的障がい者	精神障がい者	合計
R4年度	1,056	266	206	18	1,546
R3年度	1,083	282	198	18	1,581
比較	△27	△16	8	0	△35

(助成金額) 道補助対象分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	1,433	24,822	23,389	62,119	24,822	86,941
R3年度	1,478	27,894	22,248	61,390	23,726	89,284
比較	△45	△3,072	1,141	729	1,096	△2,343

(助成金額) 市単独分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	258	5,589	5,180	10,165	5,438	15,754
R3年度	249	5,725	5,305	10,760	5,554	16,485
比較	9	△136	△125	△595	△116	△731

(助成金額) 合計

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	1,691	30,410	28,569	72,285	30,260	102,695
R3年度	1,727	33,619	27,553	72,150	29,280	105,769
比較	△36	△3,209	1,016	135	980	△3,074

・子ども医療費の助成 (P. 100)

(受給者数)

区 分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	合 計
R4 年度	1,243	1,836	3,098	37	6,214
R3 年度	1,240	1,935	1,670	27	4,872
比 較	3	△ 99	1,428	10	1,342

※R4 より小学 4～6 年生の通院助成を開始

(助成金額)

区 分	入院 (未就学児)		入院外 (未就学児)		入院 (小学生)		通院 (小学生)	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4 年度	413	14,459	49,442	66,595	63	1,922	32,250	41,245
うち道補助対象分	413	13,010	49,442	51,237	63	1,922	-	-
うち市単独分(一部)	(57)	1,449	(22,730)	15,358	-	-	-	-
うち市単独分(全部)	-	-	-	-	-	-	32,250	41,245
R3 年度	521	18,474	50,549	68,626	51	1,720	17,116	20,751
比 較	△108	△4,015	△1,107	△2,031	12	202	15,134	20,494

区 分	入院 (中学生)		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4 年度	27	952	82,195	125,173
うち道補助対象分	-	-	49,918	66,169
うち市単独分(一部)	-	-	(22,787)	16,807
うち市単独分(全部)	27	952	32,277	42,197
R3 年度	26	753	68,263	110,324
比 較	1	199	13,932	14,849

※R4 より小学 4～6 年生の通院助成を開始

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数 (人)			件数 (件)			助成金額 (千円)		
	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計
R4 年度	19	19	38	46	44	90	4,187	975	5,162
R3 年度	20	20	40	50	46	96	4,262	630	4,892
比 較	△1	△1	△2	△4	△2	△6	△75	345	270

・ひとり親家庭等医療費の助成 (P. 88)

(受給者数)

区 分	親	子	計
R4年度	756	1,138	1,894
R3年度	789	1,194	1,983
比 較	△33	△56	△89

(助成金額)

[親] (道補助対象分) (市単独分)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	65	2,203	10,042	20,897	10,107	23,100
R3年度	66	2,298	9,863	21,415	9,929	23,713
比 較	△ 1	△ 95	179	△ 518	178	△ 613

[子] (道補助対象分) (市一部負担分含む)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	33	1,471	10,852	18,565	10,885	20,036
R3年度	45	1,757	10,511	17,983	10,556	19,740
比 較	△12	△286	341	582	329	296

[合計]

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R4年度	98	3,675	20,894	39,462	20,992	43,137
R3年度	111	4,055	20,374	39,398	20,485	43,454
比 較	△13	△380	520	64	507	△317

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

(加入状況)

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R4年度	8,221	23.48	12,107	17.28
R3年度	8,310	24.04	12,447	17.77
比 較	△89	△0.56	△340	△0.49

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R4年度	6,686,439	6,599,564	86,875
R3年度	6,663,460	6,531,509	131,951
比 較	22,978	68,055	△45,076
増加率%	0.34	1.04	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1 件当り (円)	1 人当り (円)
R4 年度	129,465	1,069.34	4,284,155	33,091	353,858
R3 年度	129,102	1,037.21	4,250,459	32,923	341,485
比 較	363	32.13	33,696	168	12,373
増加率%	0.28		0.79	0.51	3.62

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
R4 年度	10,143	14.44
R3 年度	9,813	14.00
比 較	330	0.44

(収支状況)

区分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R4 年度	1,101,787	1,083,103	18,684
R3 年度	1,058,267	1,039,436	18,831
比 較	43,520	43,667	△147
増加率%	4.11	4.20	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標10 いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を実施しました。

●企業誘致環境の整備

民間が所有する工業団地内の未操業地について、仲介・斡旋を継続的に行うことなどの誘致活動を進めた結果、4社(新規立地2社)の立地が決定しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業 (P.125)

3,758千円

求職者の就職支援を目的とした合同企業説明会を実施しました。また、企業採用担当者向けに主婦層、シニア層の活用・採用方法や活用事例等について学べるセミナーを開催し、市内企業の人手不足に対する支援を行いました。さらに、市内に住む若年層の他市町村への労働力流出を防ぐことを目的に、新規学卒者向け仕事紹介冊子の作成及び広報媒体による市内企業の働く場としての魅力発信を行いました。

1. 就職促進事業

(1) 合同企業就職説明会(パート・アルバイト向け) 令和4年10月25日

参加者43名 参加企業10社

(2) 合同企業就職説明会(正社員向け) 令和4年10月25日

参加者54名 参加企業8社

上記(1)、(2)による就職決定者16名

2. 採用力向上支援事業

(1) 企業採用担当者向けセミナー 令和4年10月18日

受講企業16社

3. 企業情報発信事業

(1) 冊子の作成及び広報媒体による周知

掲載企業6社、1,600部作成、求人雑誌・情報発信WEBサイトへの掲載

・求職・労働相談 (P.125)

661千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室を運営することで求人情報の把握や市民に対する求人情報の発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の冬期間の生活安定を図ることを目的として通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭(ふるさとハローワーク)				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R4年度	3,819	622	1,090	354	16	12
R3年度	4,229	712	1,091	317	16	7
比 較	△410	△90	△1	37	0	5

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	40社	26社	3人	1人
②事業所向け経営支援講習事業	60社	89社	3人	2人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	620社	388社	10人	16人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブック Web 版掲載）	875社	822社	8人	16人
⑤事業所向け調査研究事業	850社	953社	—	—
⑥事業所向けドローン関連業務委託事業	35社	23社	1人	3人
⑦通年雇用化支援講習業務委託事業	40人	38人	2人	2人
⑧建設技能資格取得業務委託事業	17人	15人	2人	4人
⑨施設管理技能資格取得業務委託事業	6人	2人	1人	0人
⑩介護関連資格取得業務委託事業	3人	0人	1人	0人
⑪季節労働者向けドローン関連業務委託事業	20人	16人	1人	2人
⑫商業・サービス業技能講習事業	30人	26人	1人	1人
⑬合同企業就職説明会事業	44人	38人	2人	0人
⑭季節労働者通年雇用化情報提供事業	1,000人	1,412人	7人	2人
⑮季節労働者資格取得支援事業	5人	4人	1人	0人
⑯季節労働者調査研究事業	1,000人	524人	—	—
⑰建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	7人	6人	1人	0人
⑱季節労働者相談事業	30人	39人	1人	0人
合計	4,682件	4,421件	45人	49人
目標達成率	94.4%		108.9%	

・シルバー人材センター事業支援（P.125）

14,129千円

高年齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、高年齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年度	公共事業		その他		合計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R4年度	320	96,371	2,813	161,075	3,133	257,446
R3年度	343	105,838	2,931	153,443	3,274	259,281
比較	△23	△9,467	△118	7,632	△141	△1,835

目標 1 1 恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備や排水路および関連施設の適切な維持管理を行い、地域共同の取組による環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業 (P. 130) 5, 622千円
排水路床ざらい、維持補修工事
- ・排水路改修事業 (P. 130) 5, 995千円
排水路改修工事 (西1線幹線)
- ・内水排除施設管理事業 (P. 130) 30, 383千円
排水機場管理事業 (北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場)
釜加地区内水排水機場管理費負担金 (南21号・南18号排水機場)
- ・水利施設整備事業 (P. 131) 2, 486千円
排水機場施設整備事業 (漁太排水機場膨張タンク・触媒栓)
- ・国営かんがい排水事業 (P. 131) 264千円
国営土地改良事業地元負担金 (北島地区)
- ・多面的機能支払交付金事業 (P. 131) 103, 876千円
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・国営造成施設 (揚水機場) 管理事業費 (P. 131) 38, 464千円
揚水機場管理事業 (千歳川第1・第2揚水機場)

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を推進しました。

- ・林務事業費 (P. 127) 2, 531千円
森林環境整備事業 (事業手法の検討、現地調査)
- ・農業後継者対策費 (P. 127) 5, 520千円
農業研修派遣事業 実績18件 (青年農業者道外研修3名、女性農業者道内研修15名)
農業後継者育成事業 申請者なし
農業次世代投資資金 (経営開始型) 事業 実績3件 (個人2名、夫婦1組)
- ・農業者支援資金利子補給事業 (P. 128) 348千円
スーパーL資金に係る利子補給

- ・ **農業振興対策事業 (P. 128)**
 農業振興地域整備計画の改定
 農業振興地域整備計画は「農業振興地域の整備に関する法律」により、概ね5年ごとに計画に関する基礎調査を行うものとされており、計画区域の土地利用などに変化があったことから、計画の見直しを行いました。
 簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ (1件 事業面積1,000a)、
 ジャガイモシストセンチュウ対策 (10件 作付面積2,730a)、米麦改良協会補助事業
 経営所得安定対策推進事業、強い農業づくり事業 (3件)、スマート農業推進事業 (1件)
 水田麦・大豆産地生産性向上事業 (3件)、持続的畑作生産体系確立緊急対策事業 (2件)
 施設園芸エネルギー転換促進事業 (1件)、国産小麦産地生産性向上事業 (2件)
 肥料高騰対策支援事業 (125件)

98,602千円
- ・ **環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 128)**
 環境保全型農業への取り組み支援 (11件 対象面積7,582a)

4,339千円
- ・ **畜産振興事業費 (P. 129)**
 酪農経営改善事業 (12件)、家畜自衛防疫事業 (24件、消毒回数6回)
 酪農ヘルパー推進事業 (10件)、飼料高騰対策支援事業 (22件)

4,228千円
- ・ **市営牧場管理事業 (P. 129)**
 酪農事業の発展および飼料基盤確保のため、若牛の集団育成を実施
 (運営期間：5月26日～10月20日 平均受入頭数：211頭)

17,800千円

● **農工商等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進**

- ・ **恵庭市農工商等連携推進ネットワーク (P. 133)**
 市内の企業・団体が参画して設立した「恵庭市農工商等連携推進ネットワーク」の活動に加え、友好都市協定を結んだ藤枝市と設立した連携推進ネットワークにより、それぞれの特徴を生かした産業振興や農畜産物の販路開拓に取組みました。
 会員数 114会員
 - (1) 交流促進事業
 定期総会・交流会 (書面開催) 令和4年8月3日 回答数55人
 - (2) 販路拡大事業
 北海道産取引商談会 (東京会場・大阪会場) 出展者各1者
 - (3) 情報発信事業
 メールニュース24回
 パンフレット「えにわづくり」を更新作成
 ガーデンフェスタ北海道2022へ出展 出展者5者
 - (4) 新商品開発支援事業
 新商品数18品 (市内連携商品9品、藤枝市内連携商品9品)
 石狩振興局との共催により、会員商品の商品開発や販路拡大を目的とした個別商談会を実施
 商品企画力向上相談会 令和4年11月28日 恵庭市民会館 参加者4事業者
 - (5) 藤枝市との連携事業
 ネットショップ藤の恵の運営 販売実績 販売商品130商品 (うち恵庭市50商品)
 事業者間の交流 (産業祭の出展)
 藤枝市産業祭 (令和4年10月29～30日) 恵庭市から4社
 シン・えにわん産業祭2022 (令和4年9月24日) 藤枝市から4社参加
 アンテナショップにおける販売
 藤枝市観光案内所にてネットワーク会員の開発商品の常設販売を行いました。
 出品商品 2商品

商品開発補助金

補助金交付件数 2社、開発商品数 8商品

・シン・えにわん産業祭2022

産業祭では、地元の農畜産物や市内の食品加工製造業の展示・販売を通じて恵庭の魅力をPRし、友好都市の藤枝市と姉妹都市の和木町とも連携した交流コーナーを出展しました。

主な出展コーナー

【市内企業団体の出展・特産品販売】【職業体験コンテンツ】

【はなふるフードマーケット・ENIWAパン・スイーツマルシェ】

開催日：9月24日

来場者数約6,200名 出展企業・団体45

目標 1 2 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業 (P. 133)

1, 247千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

商店街活力再生促進事業補助金

- ・恵み野商店会：恵み野夏祭り、晩飯市
- ・恵み野やすらぎストリート：やすらぎストリートであ・そ・ぼ！！事業
- ・花さんぽストリート：恵み野花さんぽストリートにぎわい創出環境整備事業
- ・恵庭駅通商店街振興組合：駅まちプラザ内にフリーWi-Fiを設置するにぎわい創出事業

・起業家支援事業 (P. 132)

8, 059千円

市内で新たに出店する事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました。

●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業 (P. 135)

295千円

市民や各団体が垣根を越えて協力し、多くの人々が楽しく、幸せになる恵庭らしいマルシェを開催することにより、まちの活性化、市内経済の振興を図りました。

・えにわマルシェ本開催

会場：緑と語らいの場 えにあす
開催日：8月6日
来場者数：1,122人
出店数：22店舗

・プチマルシェ

- ①会場：道と川の駅「花ロードえにわ」
開催日：5月1日～10月30日（計62日間）
出店数：延110店
- ②会場：フレスポ恵み野
開催日：8月28日・12月18日・2月26日（計3日間）
出店数：延19店舗

・ガーデンフェスタマルシェ（出前マルシェ）

会場：花の拠点はなふる
開催日：6月27日～7月22日（うち17日間）
出店数：延49店舗

目標 13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。令和4年度は、全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」をはなふるをメイン会場に開催し、期間中34万人の方々にご来場いただき、花のまち恵庭を全国に発信しました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、推進協議会をはじめ盤尻地区の観光とまちづくりについて懇談会を開催しました。

また第2期恵庭市観光振興計画に基づき、情報誌及び観光WEBサイトにおいて情報発信を行ったほか、ツーリズムEXPOに参加するなど魅力の発信に努めました。

引き続き関連施設のパンフレットを作成・更新し、各種イベントにおいて来場者参加型のプログラムを実施するなど観光振興を図りました。

・令和4年度 恵庭市観光推進協議会（1回：令和4年11月2日）

・盤尻地区観光まちづくり懇談会

開催日：第1回 11月16日

第2回 12月22日

第3回 2月10日

第4回 3月22日

・緑のふるさと森林公園ふれあい乗馬体験

開催日：10月9日

場 所：緑のふるさと森林公園

参加者：延149人

・恵庭市公式HP「花と観光」閲覧総数年間 110,761件（前年度149,163件）

・恵庭市公式観光サイト「ENIWA EYE」年間 181,652件（前年度79,794件）

・花の拠点はなふる専用サイト年間 379,401件（前年度207,136件）

・観光ガイドブック「旅するえにわ」改訂・増刷（11,000部）

・花の拠点関連ガイドブックの作成（ガーデンエリア：15,000部、りりあ：5,000部、RVパーク：1,000部）

・緑のふるさと森林公園パンフレット増刷（1,000部）

・恵庭花のまちづくり推進会議事業（P.136）

2,565千円

平成30年に策定した新・花のまちづくりプランでは「美しいまちで暮らそう」を目標としました。「美しい環境がある」「美しい人々がいる」の2つのテーマのもと市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を生かした環境作りに取り組みました。

（1）花とくらし展 ガーデンフェスタ北海道2022期間中に同日開催しました。

①はなふるガーデナー講習会

デザイナートークセッション（6月25日、7月9日）、お庭の学校（7月7日、8日）

②北海道ハンギングバスケット協会の講習会開催

コンテナ講習（7月1日、4日）、ハンギングバスケット講習（7月5日、6日）

③カルチャー部会展示（7月2日、3日）

④オープンガーデンバスツアー（7月2日、3日、23日、24日）

（2）花マップの製作 12,000部（市内JR各駅、花ロードえにわ外にて配布）

（3）YouTube 動画作成、はなふるPR動画編集

・台湾経済交流推進事業 (P. 134)

4, 548千円

令和4年度は、コロナ禍の影響により訪日教育旅行の受入れは出来ませんでしたが、アフターコロナのニーズを見据え、WEBを活用した教育旅行・一般旅行者向けの多言語情報発信を実施したほか、台湾華僑招聘事業を実施し、観光の誘客や市内投資の促進を図りました。

商談会参加市内事業者 8者

- ・「ENIWA EYE」の運営
- 観光PR動画等の内容を更新
- 情報発信：24回、SNS広告を実施

・恵庭ふるさと公園再整備事業 (P. 145)

170, 841千円

平成30年度に策定した「恵庭ふるさと公園再整備基本計画」に基づき、再整備を実施しました。

- ・恵庭ふるさと公園再整備工事（芝生広場、コミュニティ広場、散策路、シェルターなど）
- ・公園施設長寿命化改修工事（公園遊具更新 複合系遊具2基）
- ・P-PFI 関連工事（公募対象公園施設：飲食店、トイレなど、特定公園施設：駐車場、園路など）

・花の拠点整備事業 (P. 137)

51, 690千円

- ・花の拠点植栽工事
- ・駐車場整備工事負担金
- ・ガーデンエリア備品購入
- ・花の拠点さく井工事 等

・花の拠点運営事業 (P. 136)

156, 170千円

コロナ禍の影響により制限がある中での取り組みとなりましたが、民間事業者と協働で、「花の拠点来訪者の満足度向上、観光客の一層の誘客」に向け各種イベントを開催しました。

- ・各施設入込数 花ロードえにわ 1, 201, 436人
農畜産物直売所 395, 343人
センターハウス 291, 600人
- ・イベント実績 はなふるアートファンタジア 534人（ガチャガチャ参加、見学者数）
はなふるスノーフェスタ 3, 398人（来場者数）
こどもの遊び場親子イベント
はなふるでいず
エアキャッスル

花の拠点運営関連歳入決算

(単位：円)

歳 入 科 目	決 算 額
土地使用料（道と川の駅）	17,222
自動販売機使用料（道と川の駅）	5,125,370
自動販売機使用料（花の拠点センターハウス）	921,959
公園使用料（道と川の駅）	23,500,921
公園使用料（農産物直売所）	22,000,000
公園使用料（花の拠点センターハウス）	11,009,220
公園使用料（宿泊施設）	3,554,725
公園使用料（ガーデンエリア）	1,775,214
公園使用料（暮らしを恵む庭）	190,140
公園使用料（魅力向上事業エリア）	3,120,164
土地建物貸付収入	203,006
電話等使用収入	5,070
はなふる物販等収入	153,000
合計	71,576,011

・シェアサイクル運営事業 (P.134)

1, 515千円

恵庭駅、恵み野駅及び「はなふる」の3か所にシェアサイクルポートを設置し、オープンガーデンや市内観光施設、飲食店等への周遊促進を図りました。

利用実績：395人

(居住地内訳)：市内78人/道内85人/道外194人/不明38人

(プラン内訳)：1時間209人/4時間178人/12時間6人/その他2人

・第39回全国都市緑化北海道フェア事業 (P.146~147)

233, 276千円

「はなふる」をメイン会場に、令和4年6月25日から7月24日までの30日間、第39回全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」を北海道、恵庭市、(公財)都市緑化機構の3者の主催により開催しました。

フェアは都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的に行われている、花と緑に関する国内最大級のイベントであり、中心的行事である「令和4年度全国都市緑化祭」は、7月13日に佳子内親王殿下のご臨席を賜り開催いたしました。

「はなふる」には、期間中34万人の方々にご来場いただきました。

このイベントを一過性で終わらせるのではなく、今後も花のまちづくりを進めるために7月13日を「恵庭市花と緑の記念日」として、各種取組を進めます。

開催前の取組

○プレイベント

4月16日 コカ・コーラ自動販売機×小学生絵画セレモニー

5月 3日 はなふるGWイベント

5月 7日 ガーデンフェスタ北海道2022開催記念事業 フラワーエッセイ表彰式
恵庭市民文芸の会主催

5月20日 ガーデンフェスタ北海道2022コラボメニュー完成披露会
北海道文教大学附属高等学校、CAFÉ食堂、キズナ、cafe福座

5月28日 なおみちカフェ

5月30日 「ガーデンクラフト」完成報告会 緑化フェアサポーターズクラブ企画

6月16日 ガーデンフェスタ北海道2022フレーム切手贈呈式
郵便局石狩地区連絡会主催

○他イベント等でのPR

4月16日・17日 第38回全国都市緑化くまもとフェア(熊本市)

4月21日 里山ガーデンフェスタ(横浜市)

4月22日 どさんこプラザ(有楽町)

5月 1日 千歳アウトレットモールレラ(千歳市)

5月13日~15日 ガーデンフェスタ北海道2022×イオン道産デー
(札幌市・札幌平岡店)

5月22日 第55回花と緑のフェスタ(千歳市・グリーンベルト)

5月27日 プロ野球 日本ハムー巨人戦(札幌市・札幌ドーム)

○周遊の仕組み

6月11日 ぐるっとガーデンオンラインミーティング(WEB開催)
第39回全国都市緑化北海道フェア実行委員会主催

6月25日~7月24日 デジタルスタンプラリー
第39回全国都市緑化北海道フェア実行委員会主催

4月22日~3月31日 NEXCO東日本北海道スマホスタンプラリー
NEXCO東日本主催

6月19日~7月24日 イオン×花めぐりキャンペーン イオン北海道(株)主催

開催期間の取組 期間中メイン会場では約34万人の方々にご来場いただきました。
フェア開催により、北海道内における経済波及効果は59億円と推計しました。

○公式行事

- 6月18日 2022年日本造園学会全国大会シンポジウム 兼 第39回全国都市緑化北海道フェア 都市緑化普及啓発シンポジウム
参加者305名
- 6月23日 内覧会 参加者193名
- 6月25日 オープニングセレモニー 参加者41名
開会式 参加者約330名
- 7月 3日 来場者10万人達成セレモニー
ハンギングバスケット・コンテナガーデンコンテスト表彰式
- 7月11日 来場者20万人達成セレモニー
- 7月13日 令和4年度全国都市緑化祭 佳子内親王殿下のご臨席を賜る
- 7月22日 来場者30万人達成セレモニー
- 7月24日 閉会式 参加者約250名
フェアフィナーレ

○展示出展

- 自治体出展（負担金施工）花壇 12団体
- 自治体出展（自主施工）花壇 1団体
- 自治体出展（道内外市町村）コンテナ 10団体
- 企業・団体等出展庭園 35団体
- 全国デザインコンクール大賞作品（高校生） 1団体
- 恵庭市内中学生出展コンテナ
- 恵庭市内小学生出展
- ハンギングバスケットコンテスト作品 49作品
- コンテナガーデンコンテスト作品 40作品

○ステージイベント

土日祝日を中心に各種ステージイベントを実施

○サポーターズクラブ行催事

当日イベント（セミナー、ステージ、ツアー）等、18企画を実施

開催後の取組

- 大花壇かたづけ隊 8月1日～5日 171組302名参加
- ガーデンフェスタその後検討懇談会
 - 10月17日 第1回会議
 - 11月18日 第2回会議
 - 12月15日 第3回会議・提言書提出
- 公式記録作成 11月30日 2,000部制作
- 記念プレート除幕式 12月17日
- 恵庭市花と緑の記念日条例制定（7月13日）
- 第39回全国都市緑化北海道フェア実行委員会
 - 2月24日 第4回総会（書面開催）
 - 2月28日 解散

・市内消費拡大事業（P.135）

4,941千円

新たな観光拠点である「はなふる」を中心とした市内周遊のためデジタルマップを作成したほか、「はなふる」内宿泊施設と市内飲食店間の移動支援のためタクシーの借上げを行い、宿泊施設利用者の市内消費の促進を図りました。

・ふるさと納税推進事業 (P. 65)

1, 379, 259千円

民間のふるさと納税サイトを新たに3サイト追加し、令和5年3月末現在15サイトで寄附を募りました。返礼品の充実に努めるとともに、主要返礼品の配送日数の短縮や梱包の改善、定期便の回数を細分化するなど寄附拡大の取組をしました。寄附は首都圏を中心に、広く全国から寄せられており、この事業を通して、さらに、恵庭の魅力発信や知名度の向上につながりました。

令和4年度ふるさと納税 115, 565件 寄附総額 2, 487, 891千円

※ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附

●移住・定住の促進

・移住促進事業 (P. 65)

8, 500千円

移住・定住を促進するため、移住相談会への出展、オーダーメイドツアーの実施、移住・定住サイトにおけるPR及び移住者向け情報誌の発行、移住者交流会などを実施しました。また、流通空家を増やす取組として、高齢者に向けた住み替えセミナーを実施しました。

・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス件数：60, 230件

・移住イベントへのブース出展

札幌、東京、大阪、福岡のイベントへ出展 合計相談者92組

・オンライン移住相談参加者数：17組

・オーダーメイドツアー参加者数：17組

・移住者交流会の実施 参加者数：11組21名

・住み替えセミナーの開催 参加者数：62名

・恵庭U I J ターン新規就業支援事業補助金：4件（世帯2件、単身2件）

●都市間交流の促進 (P. 73)

1, 189千円

・姉妹都市和木町との交流事業

6月13日～8月12日 : 職員研修派遣交流（和木町職員の受入）

6月24日～6月26日 : ガーデンフェスタ北海道2022開催セレモニー
（町長、議会議長含む4名来恵）

7月16日～7月19日 : ガーデンフェスタ北海道2022ブース出展（4名来恵）

7月23日～7月25日 : ガーデンフェスタ北海道2022閉会セレモニー
（副町長、議会副議長含む3名来恵）

7月27日～7月29日 : 和木町教育使節団（6名来恵）

11月9日～11月11日 : 行政派遣研修 3名視察

・友好都市藤枝市との交流事業

6月24日～6月26日 : ガーデンフェスタ北海道2022開催セレモニー
（市長、議会議長含む7名来恵）

10月29日・30日 : ふじえだ産業祭への出展

・姉妹都市等交流促進事業補助金

第3回恵庭市長杯サッカー大会（来恵 1チーム）

第49回藤枝JC杯争奪青少年少女サッカー大会（訪問者 16名）

恵庭市農商工等連携推進ネットワーク

ふじえだ産業祭への出展交流事業（訪問者 6名）

道央農業協同組合 和木町・JA道外視察研修（訪問者 15名）

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標 1 4 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討

子育てについての相談・指導などの各種支援に努め、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、令和4年度から、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠・出産から子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型支援と、妊娠の届け出後及び出生後の経済的支援として出産・子育て応援給付金の支給を行いました。

・学童クラブ事業 (P. 105)

2 2 6, 7 3 6千円

令和4年度は全20か所で学童クラブを運営しました。増加する学童クラブへの需要に対応するため、令和4年度より民間学童クラブへの運営費補助制度を新設し、市内1か所の民間学童クラブへ運営費補助を実施しました。

・学童クラブ受入状況 (月平均)

区 分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	要加配児童	合計
R4年度	228	192	154	74	24	18	16	706
R3年度	217	209	118	83	34	16	13	690
比 較	11	△17	36	△9	△10	2	3	16

・学童クラブ在籍状況 (年度末)

	児童数		児童数		児童数		児童数
恵庭	53	和光	50	若草	30	恵み野	32
恵庭第2	43	和光第2	55	若草第2	28	恵み野第2	26
恵庭第3	30	和光第3	38	若草第3	20	恵み野旭	28
柏	45	島松	33	若草第4	25	恵み野旭第2	21
柏第2	31	島松第2	35	松恵	31	恵み野旭第3	22

・子育て支援センター事業の充実 (相談件数・利用者数) (P. 103~105)

相 談 項 目	件数	年齢等	利用者数
しつけ (基本的生活習慣)	143	保護者	11,910
発達 (言語、情緒、身体)	162	0歳	2,877
子どもの対人関係	36	1歳	4,543
親子・家庭関係	49	2歳	3,337
問合せ	342	3歳以上	3,053
合 計	732	合 計	25,720

※相談件数・利用者数は、柏陽、恵み野、島松、黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況 (P. 105～106)

区 分		就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計
R4 年度	恵庭子どもひろば	356	5,847	1,073	26	558	7,860
	黄金子どもひろば	385	8,293	385	18	573	9,654
	島松子どもひろば	110	1,887	214	3	125	2,339
	恵み野子どもひろば	1,266	3,763	414	191	1,704	7,338
	若草っ子ひろば	-	1,073	-	-	-	1,073
	柏子どもひろば	342	3,535	352	53	424	4,706
	松恵子どもひろば	-	1,791	-	-	-	1,791
	総 計						
R3 年度	恵庭子どもひろば	454	4,910	88	16	165	5,633
	黄金子どもひろば	219	6,279	312	8	2	6,820
	島松子どもひろば	141	2,440	119	146	14	2,860
	恵み野子どもひろば	659	2,177	78	208	1,161	4,283
	若草っ子ひろば	-	457	-	-	-	457
	柏子どもひろば	237	1,910	249	29	43	2,468
	松恵子どもひろば	-	291	-	-	-	291
	総 計						
比較	恵庭子どもひろば	△98	937	985	10	393	2,227
	黄金子どもひろば	166	2,014	73	10	571	2,834
	島松子どもひろば	△31	△553	95	△143	111	△521
	恵み野子どもひろば	607	1,586	336	△17	543	3,055
	若草っ子ひろば	-	616	-	-	-	616
	柏子どもひろば	105	1,625	103	24	381	2,238
	松恵子どもひろば	-	1,500	-	-	-	1,500
	総 計						

ランドセル来館利用状況

	R4 年度		R3 年度		比較	
	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数
恵庭子どもひろば	2	58	0	0	2	58
黄金子どもひろば	4	179	0	0	4	179
島松子どもひろば	0	0	6	451	△6	△451
柏子どもひろば	3	173	3	45	0	128
合 計	9	410	9	496	0	△86

・ファミリーサポートセンター会員数／援助活動件数 (P. 106)

【基本の預かり】

- ・依頼会員 738人
- ・協力会員 131人
- ・両方会員 55人
- 合 計 924人

援 助 内 容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	213
学童保育の送迎、預かり等	34
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	173
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	235
子どもの病気、習い事等の場合の援助	460
その他	0
合 計	1,115

【病児・病後児預かり】
 ・協力会員 27人

援助内容	件数
病児・病後児の預かり	7
宿泊を伴う預かり	5
送迎	2
(うち、医療機関の代理受診)	0
その他	0
合計	14

・児童手当 (P. 99)

(単位：人・千円)

区分		第1子		第2子		第3子以降		合計	
		総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額
R4年度	3歳未満	5,375	80,625	4,211	63,165	1,865	27,975	11,451	171,765
	3歳以上	22,357	223,570	15,819	158,190	6,103	91,545	44,279	473,305
	中学生	9,906	99,060	5,207	52,070	487	4,870	15,600	156,000
	特例給付	842	4,210	785	3,925	256	1,280	1,883	9,415
	小計	38,480	407,465	26,022	277,350	8,711	125,670	73,213	810,485
R3年度	3歳未満	5,633	84,495	3,974	59,610	1,897	28,455	11,504	172,560
	3歳以上	22,519	225,190	16,171	161,710	6,285	94,275	44,975	481,175
	中学生	10,032	100,320	5,308	53,080	575	5,750	15,915	159,150
	特例給付	1,219	6,095	1,054	5,270	446	2,230	2,719	13,595
	小計	39,403	416,100	26,507	279,670	9,203	130,710	75,113	826,480
比較		△923	△8,635	△485	△2,320	△492	△5,040	△1,900	△15,995

※3歳未満・3歳以上小学校修了前(第3子)は月額15,000円

※3歳以上小学校修了前(第1・第2子)・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当 (P. 99)

区分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計(人)	金額(千円)
R4年度	329	266	123	718	309,896
R3年度	349	269	107	725	320,576
比較	△20	△3	16	△7	△10,680

・出産・子育て応援給付金支給事業 (P. 109)

・出産応援給付金(妊娠届出時)

支給決定者：488人

・子育て応援給付金

支給決定者：299人 支給対象児童：303人

・遺児手当 (P. 100)

区分	就学児(15,000円/年)		未就学児(12,000円/年)		合計	
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
R4年度	17	246	3	18	20	264
R3年度	21	291	3	17	24	308
比較	△4	△45	0	1	△4	△44

・施設入所会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額(千円)
R4年度	0	0
R3年度	0	0
比 較	0	0

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額(千円)
R4年度	0	0
R3年度	2	1,352
比 較	△2	△1,352

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R4年度	23	75	346	0	0	0
R3年度	0	0	0	0	0	0
比 較	23	75	346	0	0	0

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談員 2名

・家庭児童相談受付件数

(実件数)

項目	養育相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	障がい視聴覚	障がい等言語発達	障がい重症心身	知的障がい	発達障がい	ぐ犯行為等	触法行為等
R4年度	161	79	6	0	0	2	0	80	15	4	0
R3年度	139	56	2	2	1	0	0	48	4	3	0
比 較	22	23	4	△2	△1	2	0	32	11	1	0

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性格行動	不登校	適性	しつけ・育児		
R4年度	16	21	0	5	33	422
R3年度	15	17	1	4	90	382
比 較	1	4	△1	1	△57	40

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別ケース検討会議 36回 講演会 1回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
R4年度	0	10	66	113	16	7	4	400	97	28	1	1	9
R3年度	0	26	55	95	16	4	1	404	77	26	3	0	12
比較	0	△16	11	18	0	3	3	△4	20	2	△2	1	△3

項目	経済的支援・生活援助							その他					合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向 公営住宅	母子福祉施設 の利用	支援施設 母子生活	
R4年度	172	26	6	305	14	9	132	0	0	0	0	0	1,416
R3年度	226	16	3	363	8	8	137	0	0	0	0	0	1,480
比較	△54	10	3	△58	6	1	△5	0	0	0	0	0	△64

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (P. 100)

区分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
R4年度	0	0	0	1	0	1
R3年度	0	0	0	0	2	2
比較	0	0	0	1	△2	△1

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業 (P. 100)

区分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	合計	修了支援給付金※
R4年度	0	0	1	0	3	1	5	0
R3年度	0	0	2	0	1	1	4	2
比較	0	0	△1	0	2	0	1	△2

※養成課程が修了後1回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

区分	利用者数	金額(千円)
R4年度	0	0
R3年度	0	0

・ひとり親家庭等日常生活支援事業 (P. 100)

区分	利用者数	利用回数	利用時間	金額(千円)
R4年度	2	5	13	24
R3年度	1	1	2	4
比較	1	4	11	20

・ 恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況 (P. 100)

区 分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区	島松地区	合計
R4 年度	延利用者数(人)	254	425	535	368	145	1,727
	開設日数(日)	49	51	110	48	47	305
R3 年度	延利用者数(人)	222	446	413	235	0	1,316
	開設日数(日)	44	44	136	45	0	269
比 較	延利用者数(人)	32	△21	122	133	145	411
	開設日数(日)	5	7	△26	3	47	36

●学童クラブ及び保育園、認定こども園における待機児童の解消

延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業等を実施し、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上に努めました。

・ 保育所等入所児童数 (2号・3号認定こども)

(令和5年3月31日現在)

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定員	入所率%
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すみれ保育園	6	10	12	13	15	17	73	90	81.1%
島松いちい保育園	15	19	15	20	15	19	103	90	114.4%
恵み野幼稚園	8	15	9	14	15	16	77	86	89.5%
ひまわり幼稚園	8	15	11	12	12	10	68	79	86.1%
さくら	11	18	10	13	13	17	82	75	109.3%
えほんの森	9	15	13	14	12	11	74	75	98.7%
幼稚園えるむ	13	13	11	15	5	11	68	69	98.6%
えにわスマイル保育園	9	11	6	5	11	8	50	60	83.3%
かしわ幼稚園	6	14	14	8	15	9	66	86	76.7%
あいおい子ども園	12	15	13	14	17	15	86	90	95.6%
恵庭幼稚園	6	15	7	20	25	22	95	50	190.0%
クラーク幼稚園	0	0	0	5	9	7	21	20	105.0%
島松幼稚園	0	0	0	5	6	4	15	10	150.0%
北海道文教大学附属幼稚園	8	11	12	13	16	17	77	90	85.6%
第二かしわ幼稚園	0	0	0	4	2	2	8	30	26.7%
恵み野第二幼稚園	0	5	3	1	0	2	11	51	21.6%
恵庭保育園	0	8	8	0	0	0	16	18	88.9%
しままつスマイル保育園	7	9	4	0	0	0	20	19	105.3%
島松もみじ保育園	6	6	7	0	0	0	19	19	100.0%
合 計	124	199	155	176	188	187	1,029	1,107	93.0%
うち、他市町村からの広域受入	2	2	1	3	1	2	11		
他市町村への広域入所	2	1	1	1	1	1	7		

・多子世帯保育料軽減支援事業(保育料一部無償化)

対象 3歳未満児(第2子以降)

区 分	実人数	延人数
R4年度	209	1,984
R3年度	202	1,983

・休日保育事業

定 員 : 10名程度

開設時間 : 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
あいおい子ども園	15	303	65

・延長保育事業

保育時間 18時15分～19時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	23	304	201
島松いちい保育園	66	1,011	246
恵み野幼稚園	29	448	168
ひまわり幼稚園	10	501	210
さくら	24	197	95
えほんの森	47	595	225
幼稚舎えるむ	39	728	231
えにわスマイル保育園	32	486	146
かしわ幼稚園	33	308	154
あいおい子ども園	23	683	228
北海道文教大学附属幼稚園	28	164	91
しままつスマイル保育園	11	106	75
島松もみじ	15	29	11
合 計	380	5,560	2,081

※短時間認定の時間外含む

・一時保育事業

対象児 : 1歳～就学前児

定 員 : 8名程度/日

保育時間 : 7時15分～18時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	30	633	255
島松いちい保育園	19	294	171
あいおい子ども園	56	750	247
えほんの森	29	441	198
合 計	134	2,118	871

●学童クラブ支援員及び保育士等の人材確保と質の向上

・保育士人材確保対策事業(P.108)

14,784千円

保育士の就労環境改善により、新規就労促進・離職防止を図ることで、保育受け入れ可能人数の確保を図りました。令和4年度からは、事業者が保育士用の宿舍を借上げるための費用の一部を支援する保育士宿舍借上げ支援事業補助金、清掃や給食の配膳等保育に係る周辺業務を行う保育士資格を有しない職員の配置を支援する保育体制強化事業補助金の運用を開始しました。

・保育士就労支援事業補助金

交付対象事業者 8法人15施設

交付対象保育士 36名

・保育士宿舍借上げ支援事業補助金

交付対象事業者 3法人6施設

交付対象保育士 11名

・保育体制強化事業補助金

交付対象事業者 7法人9施設

● **ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進**

児童生徒等の思いやりの心やコミュニケーション力を育み、他者と良好な関係を構築する力を高めることを目的として、自分自身の生き方や人間関係について気づき学ぶ体験学習型の授業や講座を実施しました。

・ えにわ赤ちゃん登校日 コロナ禍の影響により中止

・ **児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション授業**

実施回数：若草小学校 延6回、柏陽中学校 延9回

対 象：若草小学校5年生、6年生 179名、柏陽中学校1年生、2年生 192名

・ **教職員等 ヒューマン・コミュニケーション講座**

実施回数：1回

対 象：市内小中学校教職員等 71名

目標 15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうるおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・宿泊体験事業又は日帰り体験事業

・日帰り体験事業

恵み野地区 参加人数：22人 恵庭市焼却施設見学及びいちご狩り体験
恵庭地区 (雨天中止)

・恵庭子ども塾 (P. 171)

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内 容
ものづくり・実験教室	5	5	266人	おもしろ理科実験教室 はじめてのYoutuber体験 ふるさと再発見！もりもり探検隊 体験チャレンジDAY
宿泊型体験教室	0	0	0人	コロナ禍の影響により中止
体験学習	1	1	17人	食の体験ランド
合 計	6	6	283人	

・青少年宿泊研修施設利用状況 (P. 171)

利 用 者：市内児童、生徒、高校生及び保護者等並びに交流目的の市外児童、生徒及び高校生
利用人数：111人 (前年度研修施設利用人数 76人)

・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校5校 (各校1人)
えにわっ子ジュニアセミナー	小学4年生～6年生 前期27人 後期21人
青 少 年 表 彰	青少年団体活動者賞 (団体) 2団体 優良勤労青少年表彰 2人
青少年育成事業補助金	2022スウェーデン・ロシアを迎える会 夏休み子ども放送局 (防災特別編) 夢道教室2022

・コミュニティ・スクールの推進

市内全小中学校に設置されている学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) の理解度を深め、地域住民・保護者・学校が一体となって子供たちの成長にかかわっていく体制づくりに努めました。

「恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」 開催回数：4回 延参加人数：276人

・恵庭市はたちのつどい (P. 171)

開催日：令和5年1月8日

参加者数：487人 (男性246人、女性241人)

●読書活動による子どもの育成

ブックスタートで本と出会った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業 (P.177)

ブックスタートパックを9～10か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：452人、配布パック数：452個

・ブックスタートプラス事業 (P.177)

絵本とガイドブックを1歳6か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：471人、配布パック数：471個

・私立幼稚園等図書環境整備支援 (P.177)

・私立幼稚園及び認可外保育施設 18施設 444千円

・読み聞かせ活動の推進 (P.177)

(おはなし広場開催状況)

(単位：回、人)

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	65	373	5.7
恵庭	20	126	6.3
島松	24	151	6.3
計	109	650	6.0

・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「みやにしたつや絵本ライブ」

令和4年5月27日 市民会館中ホール 参加者数：108名

・小中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 355人 (小学校158人、中学校197人)

・作品点数 348点 (小学校157点、中学校191点)

・小・中学校学校司書の配置

・市内13小・中学校に各1名配置 (和光小 2名)

・小・中学校の図書の充実 (P.162・166)

1) 小学校学校図書館の現況

(単位：冊)

	R4年度	R3年度	増減
貸出冊数	209,421	210,827	△1,406
一人当貸出数	56.8	56.6	0.2
蔵書冊数	83,354	81,416	1,938
一人当蔵書数	22.6	21.6	1.0

2) 中学校学校図書館の現況

(単位：冊)

	R4年度	R3年度	増減
貸出冊数	36,179	40,234	△4,055
一人当貸出数	18.4	20.5	△2.1
蔵書冊数	61,222	62,238	△1,016
一人当蔵書数	31.2	31.9	△0.7

目標16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 159)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	サケ飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	445 (295)
島松小学校	サケ飼育学習、学校課題取組推進、特別活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部事業	300 (300)
柏小学校	サケ飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	301 (301)
和光小学校	サケ飼育学習、学年学級活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	355 (355)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、国際理解教育推進、総合学習、サケ飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、学校花壇活動の推進、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表、漢字力向上の取組	439 (439)
若草小学校	若草ふれあいスクール、総合学習の充実、児童会活動の充実、サケ飼育学習、学校整備の充実、学校花壇の整備、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	466 (466)
恵み野小学校	サケ飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	253 (253)
恵み野旭小学校	児童会活動、サケ飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、文化鑑賞、環境整備、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	372 (372)
恵庭中学校	吹奏楽部演奏活動・楽器購入、総合学習、ゲストティーチャー、生徒会活動充実、PTA・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	812 (812)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育・不登校対策支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	361 (361)
恵明中学校	総合学習、サケ稚魚飼育観察、生徒会活動充実、地域住民・保護者・生徒交流、吹奏楽部の充実、楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業	664 (664)
柏陽中学校	サケ稚魚飼育観察、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援地域本部事業	353 (353)
恵み野中学校	サケ稚魚飼育観察、生徒会活動、情報教育推進、中庭整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	488 (488)
合 計		5,609 (5,459)

●教育環境の整備促進

・幼稚園・認定こども園（1号認定こども）

（令和5年3月1日現在）

区 分	年齢別の入所児童数				合 計
	満3歳	3歳	4歳	5歳	
恵庭幼稚園	24人	34人	33人	32人	123人
島松幼稚園	0人	24人	25人	28人	77人
クラーク幼稚園	42人	61人	63人	62人	228人
第二かしわ幼稚園	27人	49人	57人	58人	191人
恵み野第二幼稚園	8人	27人	29人	44人	108人
恵み野幼稚園	20人	26人	27人	33人	106人
ひまわり幼稚園	22人	31人	46人	45人	144人
さくら	7人	2人	7人	2人	18人
えほんの森	3人	1人	8人	5人	17人
幼稚舎えるむ	6人	4人	8人	2人	20人
えにわスマイル保育園	4人	2人	5人	4人	15人
かしわ幼稚園	14人	25人	31人	28人	98人
あいおい子ども園	8人	5人	4人	5人	22人
北海道文教大学附属幼稚園	4人	3人	4人	2人	13人
合 計	189人	294人	347人	350人	1,180人

・特別支援教育の推進（P.157）

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1)学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校13校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ～ 13校に28名を指名

2)巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員6名

3)特別支援教育支援員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	支援員数	勤務内容	対 象
小学校	8	24	週29時間勤務	特別な支援を必要としている児童生徒
中学校	5	11		

4)特別支援学級・特別支援学校就学の状況

区 分	特別支援学校	特別支援学級					計
		情緒	知的	肢体	言語	病弱	
新入学児童	7	10	11	0	0	0	21
在学児童生徒	1	30	25	1	0	0	56
計	8	40	36	1	0	0	77

5)特別支援学級在籍・通級指導教室の状況（令和4年5月1日現在）

区 分	特別支援学級							言語 通級 教室	発達 通級 教室
	情緒	知的	肢体	言語	病弱	難聴	計		
小学校在学	76	47	5	1	2	0	131	35	105
中学校在学	25	31	1	0	1	0	58	-	-
計	101	78	6	1	3	0	189	35	105

・児童生徒の相談体制の充実（P. 157）

青少年指導員：8名

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、スクールソーシャルワーカーの配置をはじめ相談体制の充実を図りました。また、令和4年10月から北海道文教大学内に教育支援センター「学びの森」を試行開設し、不登校児童生徒の学習支援を実施しました。

1)非行少年の状況

(単位：人)

区 分	R4年度			R3年度			比 較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小 学 生	0	0	0	5	0	5	△5	0	△5
中 学 生	35	0	35	38	1	39	△3	△1	△4
高 校 生	0	0	0	4	2	6	△4	△2	△6
有 職 無 職 青 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	35	0	35	47	3	50	△12	△3	△15

2)電話相談件数

相談件数 3件（前年度比1件増）

3)スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの配置（5名）

(単位：校、回)

	学校数	派遣回数	
小学校	8	118	市スクールカウンセラー派遣 1名 1, 508時間 (道カウンセラーと兼任)
中学校	5	117	道スクールカウンセラー派遣 4名 404時間
市民会館		11	

相談内容別相談件数

(単位：件)

相談内容	いじめ	不登校	暴力行為	児童虐待	友人関係	家庭環境
相談件数	4(0)	619(70)	2(0)	3(0)	108(8)	129(7)
相談内容	教職員との関係	心身の健康・保健	学業・進路	発達障害等	その他	合計
相談件数	59(4)	217(9)	45(0)	91(0)	220(0)	1,497(98)

その他：スクールカウンセラーの授業見学・研修会講師・ケース会議・家庭訪問等

相談者別相談件数

(単位：件)

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合 計
相談件数	251(9)	537(64)	622(25)	87(0)	1,497(98)

※ () 内は市民会館相談件数

4)不登校児童生徒の教育支援センター

- ・指導員の配置 専任3名
- ・通室状況 小学生6人・中学生57人通室
- ・学校復帰 完全復帰5人、不定期登校・別室登校・部分復帰23人

5)メンタルフレンド事業

- ボランティア登録者数(北海道文教大学の学生)6名
- 派遣実績:小・中学生ともに0件…メンタルフレンド研修1回実施

6)なかよしさわやかDAY全市交流会

令和4年7月21日に市民会館にて、市内の小中学校の代表者が一堂に会し、みんなでいじめについて考える「なかよしさわやかDAY」全市交流会を開催しました。

交流会では、テーマに基づきリモート授業での出来事についてグループ協議・発表を行いました。中学生が司会者となり、小学生をリードしながら、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交換が行われました。

・学力・体力向上推進事業 (P.159)

10,238千円

- ・学力体力向上推進会議の設置
委員:10名 開催回数:4回
- ・学力向上アドバイザーの設置 会計年度任用職員1名
- ・標準学力検査(NRT)の実施(小学校2~6年生、中学校全学年)
- ・英検I B A(英語力の測定)の実施(中学校全学年)
- ・地域人材の活用 小学校外国語授業 個人3名、1団体
体育授業等実技支援 1団体 小学校8校 60回
中学校1校 3回

・部活動指導員配置事業 (P.155)

部活動指導員を導入することにより、教員の部活動に関わる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保することなど、教員の「働き方改革」を推進するとともに、生徒が競技に理解のある指導員から指導を受けることで、技術の向上・けがの未然防止・個々に応じた適切な練習法の導入など、部活動の質的な向上を図りました。

- 配置状況:恵庭中学校 女子卓球部1名(年210時間)
- 恵明中学校 女子バドミントン部1名(年210時間)
- 恵北中学校 バスケットボール部1名(年210時間)

・小学校、中学校環境整備事業 (P.165・167~168)

- ・恵み野小学校校舎講堂防音機能復旧事業 105,627千円
老朽化したボイラー設備等の更新工事
- ・和光小学校講堂トイレ改修事業 2,677千円
体育館トイレ改修工事に係る実施設計
- ・恵み野小学校花壇塀改修事業 968千円
老朽化した花壇塀の改修工事
- ・若草小学校講堂防音機能復旧事業 3,080千円
ボイラー設備等の更新に係る実施設計
- ・柏小学校外壁改修事業 5,676千円
外壁・屋根改修工事
- ・恵み野中学校校舎屋上防水改修事業 32,348千円
屋上防水改修工事

- ・ 恵北中学校多目的室等屋上防水改修事業 10,681千円
屋上防水改修工事
- ・ 柏陽中学校防球フェンス設置事業 20,251千円
防球フェンス設置工事
- ・ 恵み野中学校環境整備事業 10,989千円
屋外物置の解体・新設工事、防火シャッター改修工事
- ・ 柏陽中学校エレベーター新設事業 73,620千円
エレベーター新設工事

・ 小学校教育端末整備事業 (P.163) 125,094千円

小学校1～3年生分の端末1,565台を整備しました。これにより、令和2年度から進めてきた児童生徒1人1台端末環境が整備されました。

・ G I G Aスクールサポーターの配置 (P.156) 3,762千円

G I G Aスクール端末を活用した授業を円滑に実施するため、G I G Aスクールサポーターを1名配置しました。

・ 高等学校等入学準備金支給事業 (P.156) 3,090千円

経済的な理由から高校等への修学に困難を有する生徒に対し、入学準備金を支給しました。

支給額：3万円

支給者数：103人（前年度118人）

・ 学校における食農教育の推進 (P.161)

栄養教諭による学校給食を活用した食育の推進を図ったほか、毎月家庭への「給食だより」「しょくいく」配布、給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

・ センター稼働日数 199日、実施学校 市内全校（8校）

<実施状況>

(単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食数	761,672
実施回数	183～ 188	189～ 194	190～ 195	190～ 194	189～ 193	186～ 191		

2) 中学校給食

・ センター稼働日数 196日、実施学校 市内全校（5校）

<実施状況>

(単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	食数	389,017
実施回数	190～ 196	188～ 193	175～ 183		

3) その他

- ・ 給食だより・しょくいく発行：毎月発行4月～3月（12か月）
- ・ 協会ホームページへの掲載：毎月の給食献立及び食育情報
- ・ 市ホームページへの掲載：主要な食材の産地等情報

目標 17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

- ・市民会館改修事業 (P. 175) 5, 456千円
防排煙制御設備の不具合状況調査及び改善方法の検討
大ホールワイヤレスインカムシステムの更新整備
- ・和光会館防音機能復旧事業 (P. 175) 25, 288千円
老朽化したボイラー設備等の更新工事
- ・東恵庭会館改修事業 (P. 176) 43, 890千円
憩いの家と地区会館の機能集約に必要な内部改修及びトイレ改修工事
- ・恵み野会館防音機能復旧事業 (P. 176) 2, 899千円
老朽化したボイラー設備等の更新工事に係る実施設計
- ・市民会館耐震化等改修事業 (P. 176) 7, 880千円
非構造部材等の耐震改修工事に係る実施設計
- ・市民会館備品整備事業 (P. 176) 6, 027千円
会議テーブルの更新整備

・公民館活動等の充実 (P. 176)

(単位：講座、人)

講座等事業名	講座数	受講者数
市民講座	12	341
暮らしに役立つ健康講座	3	34
外国語講座	3	22
日曜趣味講座	2	107
パソコン教室	8	35

(単位：講座、人)

講座等事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	3	50
みんなで楽しむピアノコンサート	2	201
公民館サークル	32(団体)	326
文化交流講座	1	32
スマホの使い方講座	6	107

- ・島松公民館まつり 舞台521人、展示360人

・図書資料等の充実 (P. 177)

1)蔵書冊数の現況

(単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	153, 110	39, 546	192, 656	7, 940	200, 596
恵庭	27, 497	15, 090	42, 587	741	43, 328
島松	22, 990	9, 677	32, 667	466	33, 133
計	203, 597	64, 313	267, 910	9, 147	277, 057

2) 貸出状況

(単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	102,816	205,846	126,550	17,147	349,543	301	1,161.3
恵庭	38,740	67,797	52,874	4,103	124,774	359	347.6
恵庭ロッカー	2,585	3,628	1,011	194	4,833	359	13.5
島松	10,533	29,220	17,507	2,137	48,864	298	164.0
黄金	1,241	1,285	369	89	1,743	335	5.2
かしわ	804	999	282	19	1,300	336	3.9
北高	23	38	1	0	39	-	-
南高	35	43	0	0	43	-	-
計	156,777	308,856	198,594	23,689	531,139	-	1,695.5

※絵本、紙芝居は児童書に含む

3) 団体貸出状況

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	366	53	10,632
恵庭			685
島松			1,200
計			12,517

4) レファレンス(資料相談)状況

区分	件数
本館	5,951
恵庭	2,860
島松	2,717
計	11,528

5) 予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料の 受付件数	未 所 蔵									計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	小中学校	
本館	4,347	283	106	124	254	13	1	2	16	0	799
恵庭	1,917	143	31	21	107	0	1	0	0	0	303
島松	1,887	138	22	21	38	0	0	0	1	1	221
計	8,151	564	159	166	399	13	2	2	17	1	1,323

6) インターネット予約サービス

・受付件数：35,060件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 8,872冊
- ・学校間の貸出冊数 2,446冊

・長寿大学の推進

高齢社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいを見つけ社会活動に参加し、健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

- ・授業回数 20回
- ・学生在籍数(最終) 116人

・えにわ学講座の推進

恵庭市を様々なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

開催日数：2回 参加者数：33人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

リカレント公開講座大学名	講座数	受講者延人数
北海道文教大学公開講座（長寿大学指定分）	22	136

・家庭教育支援事業

学齢期・思春期の子どもを持つ親が子どもの成長、発達の中でどのように子どもと関わるべきか学び、家庭内教育力の向上を図りました。

事業名	延事業回数	延参加人数	内 容
学びカフェ	9	61	緩やかな学びの場を提供
えにわままっぷ	1	45	親子を対象に子育てに役立つ体験を提供

・女性教育振興事業

- ・女性団体活動者研修会

「アロマを使ってセルフケア～コロナ禍で役立つアロマ活用術～」 参加者数：19人

- ・女性人材育成セミナー

「体験しよう！色彩自然学 色彩のチカラを借りてこころを元気に！」 参加者数：16人

・生涯学習施設かしわのもり (P. 170)

令和4年度から指定管理者による運営を開始しました。

- ・開館日数 336日 利用人員 32,490人

- ・利用内容 スポーツ練習場 45.0% 子どもひろば 17.9%

子育て支援 12.5% その他 24.6%

・夢創館の活用 (P. 170)

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	359日	利用団体数	248団体	利用人数	8,742人	利用日数	224日
------	------	-------	-------	------	--------	------	------

指定管理者 主催事業	事業名	参加者
指定管理者 主催事業	Fuente～音の泉～コンサート	参加者 70人
	典大さんの絵本パフォーマンスライブ	参加者 33人
	手作り雑貨マーケット in 夢創館	参加者 170人
	2022オーロラ上映&トークライブ	参加者 60人
連携等事業	百歳体操（22回）	参加者 287人

・史跡カリンバ遺跡の管理・整備(P. 173～174)

4,303千円

カリンバ遺跡について、土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、引き続き水文環境調査を行いました。また、史跡低地面と旧カリンバ川が開析した段丘崖を視認できるように市道からアプローチできる木製階段を設置し、危険木を伐採しました。史跡の保護、整備の啓発を目的に花植えや草刈りなどの環境整備、講演会・講座、カリンバまつり、体験学習や特別展をボランティア団体等と共同で開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等 (P. 174)

64, 624千円

・発掘調査

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
島松仲町遺跡	個人住宅	86 m ²	縄文時代	遺構3基、遺物約600点
柏木川9遺跡	民間開発	3,039 m ²	縄文・擦文時代	遺構120基、遺物約6,000点

- ・試掘・詳細分布調査 5件 (ルルマップ川18遺跡等)
- ・埋蔵文化財保護のための事前協議 21件 (ユカンボシE12遺跡等)
- ・埋蔵文化財包蔵地の照会 92件 (島松旭町1遺跡等)
- ・金属製品保存処理 鉄斧等計13点

・郷土資料館の運営・事業 (P. 172~173)

- ・入館者数 6,918人 (前年度比+3,196人)

(学習会等開催状況) (単位:人、回)

区分	R4年度	R3年度	比較
学習会参加者数 (回数)	428 (20)	151 (8)	277 (+12)

・アイヌ政策推進交付金事業 (P. 174)

1,060千円

- ・アイヌ文化マスター育成事業 参加者:6人

市内在住の中高生6名を公募し、アイヌ文化等への理解を深めるため、アイヌ文化やアイヌ語の学習、釧路市阿寒での1泊2日の研修やウポポイでのアイヌ料理調理体験プログラムなど全9回の講座や見学、体験等を行いました。

- ・アイヌ文化学習見学会事業 参加者:1回目25人 2回目14人

アイヌ文化やアイヌと和人との関りを深く学ぶため、1回目は平取町と新ひだか町に、2回目はウポポイを見学しました。現地の学芸員や文化庁調査官に解説をしていただき、アイヌ文化やアイヌと和人との関わりを学びました。

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

・芸術鑑賞機会の充実

文化協会と連携し、市民の舞台・作品等の発表機会を提供するため「えにわ市民文化祭」を実施しました。

- ・第65回えにわ市民文化祭

展示		舞台		合計		入場者数	
団体数	出品人数	団体数	出演人数	団体数	人数	展示	舞台
40	432	35	401	75	833	1,959	1,091

出品・出演・入場者合計 3,883人

- ・えにアートギャラリー 展示場所:はなふる 展示団体数:5団体

・文化団体の育成支援 (P. 169)

郷土芸能団体へ補助金を交付し、郷土芸能の保存と技能継承、更なる普及発展を図り郷土愛の育成と活力あるまちづくりに努めました。また、文化協会事業に対し補助金を交付したほか、文化活動奨励補助金により市民の文化活動を奨励しました。

- ・恵庭市文化協会補助金 268千円
- ・郷土芸能団体への補助金(2団体) 240千円
- ・文化活動奨励補助金(4団体) 443千円

・えにわ芸術文化宅配事業 (P. 169)

- ・登録作品数 ~ 絵画43点、書25点、写真55点、アート書道9点、パッチワーク22点
- ・展示箇所 ~ 47箇所(工場、金融機関、飲食店、事業所、幼稚園等)

・海外都市交流の促進 (P. 68)

恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通じた世界に開かれた地域づくりと市民と地域の外国人にとって住みよいまちづくりに取り組みました。

・地域日本語教室 日本語ひろば「えにわ」の開催

地域日本語教育スタートアッププログラム（文化庁補助事業）の活用により、アドバイザー助言のもと、地域日本語教室を立ち上げました。

日本語ひろば「えにわ」 20回開催、受講者延104人、学習支援ボランティア延209人

・日本語ボランティア養成講座 2回開催

・多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催 2回

外国人と接点のある関係者（町内会、教育機関、企業、行政等）が一堂に会し、情報共有や地域日本語教室の実施状況の報告、他自治体における在住外国人とのトラブル防止に関する取り組み事例及び恵庭市における今後の方向性についての意見交換を行いました。

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標 18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

駅周辺への都市機能の集積やバリアフリー化を目指すとともに、安心と賑わいのあるまちづくりを進めました。

・島松駅バリアフリー化事業 (P. 143)

107, 169千円

北海道運輸局、JR北海道、恵庭市の3者で構成される協議会において、「JR千歳線島松駅生活交通改善事業計画」を策定し、JR北海道が事業主体となり島松駅のバリアフリー化を推進しており、令和4年度については跨線橋の改修、エレベーターやスロープ等を新設し、事業が完了しました。

・島松駅周辺再整備事業 (P. 143)

12, 998千円

島松駅周辺地区都市再整備計画に基づき、島松駅東口駅前広場及び島松駅沿線の再整備を進めており、令和4年度については改修工事に係る実施設計を行いました。

・バリアフリー特定事業 (P. 141)

82, 239千円

バリアフリー基本構想に基づき、公共施設や都市公園、商業施設及びその経路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

島松駅通 L = 233.74m

目標 19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 158)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 令和4年9月30日～10月11日
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作8名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 136)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ12本、ハスカップ77本、ブルーベリー252本、ヤマボウシ45本
- ・市民植樹公園・緑地帯 アジサイ50本、八重桜15本、エゾヤマザクラ4本、シダレザクラ1本を植樹
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・3駅ロータリー
- ・公共施設花樽設置事業 市庁舎・支所・出張所、黄金ふれあいセンター、図書館等各施設
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校全児童が学校農園、花壇作り、クリーン活動を実施し、5、6年生は緑の募金活動を行いました。

・街路樹剪定・適正管理事業 (P. 140・144)

16,709千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的な剪定と間引き伐採を進めることで快適な道路環境の維持に努めました。

・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 140)

1,739千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かでうるおいのある街づくりを推進しました。

- ・実施団体：38団体

・公園照明灯LED化事業 総事業費 93,588千円 R4決算額 2,340千円 (P. 144)

恵庭市公園灯LED化事業 (契約期間 R5年1月～R14年12月)

	既設照明灯数 (基)		うちLED灯数		電力使用料 (円)
	公園灯数	トイレ照明灯数	公園灯数	トイレ照明灯数	
R4年度	425	297	425	297	1,806,196
R3年度	425	297	49	18	3,126,649
比較	0	0	376	279	△1,320,453

・公園施設長寿命化改修事業 (P. 145)

89,474千円

- ・公園遊具改修 10公園13施設 外柵更新

- ・ 街区公園美化活動助成金 (P. 145) 1, 363千円
- ・ 実施町内会 12町内会 25公園

- ・ 生活環境改善要望対策事業 (公園施設) (P. 145) 14, 786千円

市民から寄せられた公園施設や街路樹に関する意見・要望に対して、緊急性や利用者数などを勘案し、計画的に課題解決を進めました。

- ・ 河川愛護会補助金 (P. 143) 143千円

恵庭河川愛護会に補助金を交付し、河川清掃や稚魚放流などの河川愛護活動を支援しました。

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

- ・ 恵浄殿改修事業 (P. 117) 93, 676千円

恵浄殿改修計画に基づく主な改修

- ・ 炉耐火ベッド交換 (3号炉、動物炉)、セラミック張替え (動物炉)
- ・ 外壁屋上改修工事

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設設置により生じる障害を防止し、周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・ 防音 (防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項)
- ・ 民生安定施設整備 (防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条)

(単位: 千円)

事業名	種別	事業費	補助金	その他
恵み野小学校校舎・講堂防音機能復旧事業費	防音	105,627	90,893	14,734
若草小学校講堂防音機能復旧事業費	防音	3,080	2,376	704
和光会館防音機能復旧事業費	防音	25,288	23,997	1,291
恵庭ふるさと公園再整備事業費	民生安定	135,828	83,438	52,390
無線放送施設整備費	民生安定	302,999	225,641	77,358
合計		572,822	426,345	146,477

※事業費は補助対象額以外の関連事務経費等を含む。

- ・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区分	交付額(千円)
R4年度	250,047
R3年度	247,602
前年比	2,445

- ・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金 (防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条) (P. 20)

区分	交付額(千円)
R4年度	367,423
R3年度	363,429
前年比	3,994

・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進

(単位：千円)

事業名	事業費	調整交付金	その他
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	22,974	22,974	0
子ども医療費助成事業(基金造成)	12,820	12,820	0
恵浄殿改修事業	85,712	80,000	5,712
道路整備事業	85,719	79,216	6,503
公園照明灯改修事業	20,009	18,958	1,051
街区公園再整備事業	5,676	5,500	176
消防吏員防火衣等更新整備事業	8,313	7,954	359
消火栓更新整備事業	5,005	4,900	105
消防用資器材整備事業	3,661	3,354	307
消防団資器材整備事業	1,312	1,220	92
災害用備蓄品整備事業	2,667	2,600	67
学校給食センター施設整備更新事業	85,536	84,784	752
ICT教育整備事業	11,770	9,622	2,148
市営牧場農業機械整備事業	2,239	2,200	39
学校給食センター備品整備事業	4,345	4,207	138
校内放送機器更新整備事業	18,480	17,949	531
市民会館備品整備事業	9,943	9,165	778
合計	386,181	367,423	18,758

※事業費には調整交付金対象額以外の関連事務経費等を含む。

目標 20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 140)

区 分	延 長 (km)						出勤日数(日)	
	車道 (直営)	車道 (委託)	車道計	歩道 (直営)	歩道 (委託)	歩道計	直営	委託
R4 年度末	154.5	384.9	539.4	39.2	154.8	194.0	30	16
R3 年度末	154.5	383.9	538.4	50.1	142.0	192.1	49	27
比 較	0.0	1.0	1.0	△10.9	12.8	1.9	△19	△11

・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域のボランティアなどによる支援を行いました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第3次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

・地域公共交通システムの構築 (P. 61)

121,600千円

運転免許証返納者を対象に、エコバス・エコタク共通回数券を交付し、利用促進を図りました。

- ・地域公共交通活性化協議会：4回開催
- ・えにわコミュニティバス運行状況

路 線	便 数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・定期券収入 (円)
A・Bコース	50便 (27便)	318,254	871.9	51,435,465

・乗合タクシー運行状況

便 数	乗車人数 (人)	1日平均乗車人数 (人)	運賃・回数券収入 (円)
7便	7,618	26.0	1,718,850

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 61・278)

・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	32,561
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	23,282
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	25,093
恵み野跨線橋下東	3,977	H21.1.1	72	13,316
恵み野跨線橋下西	3,305	H21.1.1	73	12,309
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	31,093

・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口(札幌側)	371	恵み野駅	東口	743
	東口(千歳側)	433		西口	226
	西口高架下	382	島松駅		423
	西口屋内	550	サッポロビール庭園駅		35

● 橋梁耐震化など安全な道路網の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備や橋梁耐震化による安全な道路網の確保の他、生活道路の道路改良や維持修繕、歩道の修繕により、沿道の環境整備を進めました。

・ 道路・街路整備事業 (P. 142)

1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業) 85,719千円

3路線、改良舗装工事 $L = 383.28\text{m}$
 4路線、測量調査設計 $L = 322.50\text{m}$

2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) 102,883千円

7路線、改良舗装工事 $L = 606.97\text{m}$
 4路線、測量調査設計 $L = 173.98\text{m}$

・ 市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R4 年度末	534,986	399,999	74.8
R3 年度末	535,211	398,405	74.4
比較	△225	1,594	0.4
増加率(%)	0.0	0.4	0.5

・ 道路補修事業 (P. 140) 225,207千円

簡易舗装修繕

恵み野地区・柏陽地区 車道オーバーレイ $A = 10,200\text{m}^2$

歩道舗装補修 $A = 1,920\text{m}^2$

車道舗装補修 $A = 2,043\text{m}^2$

道路施設補修工事 排水構造物撤去 縁石設置 $L = 208\text{m}$

恵庭駅・恵み野駅エレベーターエスカレーター改修

・ 橋梁長寿命化事業 (P. 140・141) 259,515千円

橋梁補修工事3橋、橋梁補修設計9橋 (224,062千円)

橋梁点検4橋 (35,453千円)

・ 鉄道横断施設整備事業 (P. 142) 78,111千円

島松大通アンダーパス補修 $L = 126\text{m}$

・ 基線通周辺道路整備事業 (P. 142) 61,886千円

戸磯軽工業団地3号線改良舗装工事 $L = 351.95\text{m}$

・ 南28号線道路整備事業 (P. 142) 134,583千円

南28号線改良舗装工事 $L = 604.91\text{m}$

・ 奥御料線道路整備事業 (P. 142) 2,497千円

概略設計

・自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信（P.65）

3,000千円

自転車に関する関心を高め、自転車の利用促進と、恵庭を知って、見て、感じてもらい、「農業」「観光」「商業」等、関連産業との連携、地域観光・経済の活性化を図ることを目的とした自転車イベントを市内チェックポイントを自由に走行する方式で開催しました。また、自転車活用推進計画を策定するとともに、自転車で走行する際のおすすめルートやポイント等の情報を掲載した「恵庭じてんしゃマップ」を作成しました。

・サイクルフェスタ恵庭2022：令和4年9月3日～9月25日

参加者191人

●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持

・生活環境改善要望対策事業（道路施設）（P.141）

91,761千円

市民から寄せられた道路や除草といった身近な問題に対して、道路補修事業等の他事業と連携しながら、ニーズの大きさや緊急性・損傷度などを勘案し、計画的に地域の課題解決を進めました。

目標 2 1 安定した水供給と持続的な下水処理

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

令和4年度も恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略、恵庭市下水道ビジョン・経営戦略に基づき、効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道事業の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・配水管等整備事業 (P. 327~328)

491,777千円

(※事務費除く、工事費のみ)

- 1) 配水管布設工事 34,511千円
 - ・φ50~φ150 L=786m
- 2) 配水管布設替工事 396,832千円
 - ・φ50~φ150 L=8,959m
- 3) メーター取替工事等 59,279千円
 - ・検満メーター取替 3,908個
- 4) その他工事 1,155千円
 - ・柏木配水池無停電電源装置更新工事 1式

・下水道管渠整備事業 (P. 384)

558,108千円

(※事務費除く、工事費のみ)

- 1) 分流化
 - ・污水管布設 φ200 L=2,346m
- 2) 老朽化対策
 - ・管更生(污水) φ250 L=29m
 - ・健全度調査(テレビカメラ調査、管口カメラ調査)
- 3) 浸水対策
 - ・雨水管布設 φ250~φ1,350 L=364m
- 4) 污水整備
 - ・污水管布設 φ150~φ200 L=53m

・公共下水道 整備及び水洗化状況

区 分	令和4年度末	令和3年度末	比 較
事業計画区域 (ha)	1,887.1	1,887.1	0.0
整備済区域 (ha)	1,874.6	1,874.6	0.0
整備率 (%)	99.3	99.3	0.0
処理区域内人口 (普及人口) (人)	68,412	68,374	38
水洗化人口 (人)	68,302	68,258	44
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数 (戸)	21,865	21,690	175

・ 下水終末処理場整備事業 (P. 385)

258, 254千円

(※事務費除く、工事費のみ)

1) 改築・更新工事

- ・ 改築工事委託に関する協定 (汚泥濃縮機 外)
- ・ 設備等更新工事 (汚泥濃縮棟防水更新、中央監視装置用機器)

2) 耐震補強工事

- ・ 耐震補強工事委託に関する協定 (流入渠、放流渠、管廊 外)

・ 個別排水処理施設整備事業 (P. 385)

4, 125千円

- ・ 新設 2基 (5人槽 1基、10人槽 1基)

● 他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、効率的な資源・エネルギー循環の取組み

・ 官民連携バイオガス発電事業 (P. 361)

恵庭下水終末処理場では、地域バイオマスとしてし尿・浄化槽汚泥及び生ごみを受入れ、下水汚泥と混合処理することで発生するバイオガスを利用した発電事業を行っています。

市は民間発電事業者 (水 ing エンジニアリング(株)) にバイオガスを売却、民間発電事業者はバイオガスを利用して発電し、売電しています。

- ・ バイオガス売却量 1, 872 千 Nm³
- ・ バイオガス売却益 81, 181 千円
- ・ バイオガス発電量 3, 567 千 kwh

目標 2 2 住み続けたくなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や、柏陽・恵央団地建替事業の推進を図るため、他の市営住宅への移転や、新たな市営住宅を建設しました。

・市営住宅維持修繕 (P. 148)

30,954千円

修繕業務の一括委託及び夜間休日対応の委託化により、初期対応や緊急性判断などを迅速に行うことが可能となり、市営住宅管理業務の効率化を図っております。

・新規入居者に係る修繕 (P. 148・149)

16,292千円

新規入居者募集に係る空家修繕を27室実施。

・市営住宅長寿命化改修事業 (P. 148)

29,733千円

寿第一団地1号棟給水設備切替工事
桜町団地8～12号棟給水設備切替工事に係る実施設計

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業 (P. 148)

24,370千円

建替事業へ向けて、柏陽団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。
・移転件数 36戸 ・移転先修繕 34室

・恵央団地6号棟建設事業 (P. 149)

643,592千円

柏陽団地入居者移転先として、恵央団地6号棟を建設しました。令和5年度に外構を整備し、入居を開始します。

・柏陽団地解体事業 (P. 149)

9,680千円

柏陽団地の解体を進めるため、解体工事の実施設計を行いました。

・令和4年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S46～S52	328	2DK, 3DK
恵央団地	H15～R4	182	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,162	

※恵央団地6号棟(40戸)は令和5年3月に竣工しているが、供用開始していないため管理戸数に含めない。

目標 2 3 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の整備・適正管理

・焼却施設管理運営 (P. 122)

452, 218千円

施設の安定稼働を図るため、適切な維持管理体制の構築を推進しました。また、焼却熱を利用した再生エネルギーの活用も持続的に実施しました。

令和4年度 焼却処理量 12,902.91t

・長期包括発注支援業務 (P. 122)

6,989千円

焼却施設の長期包括的運営事業は、長期間における安全な稼働・安定的な処理、施設の計画的な点検・補修が重要であり、隣接施設とのエネルギー循環など特色をもった余熱利用を実施していることから、事業者の選定については、施設運営に関する具体的な提案を重視し、公募型プロポーザル方式を採用しました。

公募型プロポーザル審査委員会 2回開催

●ごみの分別・収集体系の構築

・ごみの発生抑制及び適正処理の推進

1) 家庭ごみの発生抑制の状況

- ・ごみ減量率 27.5% (可燃・生ごみ・不燃・粗大・資源収集・直接搬入ごみ)

※有料化前の平成21年度対比

2) ごみ減量化に関する思想普及の取組み

- ・廃棄物減量啓発誌「ごみ減量大作戦」(年3回発行、809千円)

3) 集団資源回収奨励事業

区 分	数量	備考
集団資源回収量 (t)	1,654	集団資源回収量内訳 紙類：1,524 t (うち紙製容器) 96 t ペットボトル・ビン・缶：45 t その他：85 t
資源物分別収集量及び直接搬入量 (t)	2,091	
資源回収団体奨励金交付事業		
実施団体	75	
交付額 (千円)	5,242	
資源物全体に対する割合 (%)	44.2	

4) ごみ処理恵庭モデル検討会の開催

- ・12回開催 (令和4年1月～令和5年1月)、提言書受領 (令和5年1月31日)

目標 2 4 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについて、調査研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

- ・ボランティア袋の配布
草木類専用 38,167 枚
ポイ捨てごみ用 16,736 枚
- ・環境美化等推進員登録件数 61 町内会及び自治会 85 名
- ・集合住宅ごみ等優良保管場所累計認定件数 40 件

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：2 1 1 日間（2 人体制）

●地域に応じた自然環境の保護と管理（P.117）

2, 8 3 2 千円

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・水質汚濁調査

- ・定期河川水質調査：市内 7 河川 1 0 ヲ所（年 6 回）
- ・ゴルフ場農薬検査：市内 3 ゴルフ場（年 1 回）、地下水調査：4 ヲ所（TPH 試験 1 回）

・自動車騒音常時監視委託

- ・騒音測定：国道 3 6 号（黄金北 4 丁目 13、北柏木町 5 丁目）
- ・面的評価：国道 3 6 号 調査区間 7.7km

・臭気物質測定調査

- ・臭気物質濃度及び臭気指数測定：4 ヲ所

●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発（P.117）

1, 3 1 4 千円

・ゼロカーボンシティ宣言

令和 4 年 6 月 2 2 日に「2 0 5 0 年までに市内の温室効果ガスの排出量実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、市域の脱炭素化に向けた施策の検討、企画、実施をさらに推進し、全市一丸となって取り組む事を宣言しました。

・環境審議会の開催（2 回）

「恵庭市の環境」令和 3 年度版、公害防止条例に基づく届け出要件の変更、悪臭に関する苦情等の状況、ゼロカーボン・ロードマップ、ゼロカーボン・アクションプラン、市内事業者向け地球温暖化対策・省エネルギーに係るアンケート調査、地球温暖化対策事業について協議を実施しました。

・COOL CHOICE の取組み

「恵庭市 COOL CHOICE 宣言」に基づく地球温暖化対策に資する情報発信、北海道の補助金を活用した啓発動画の作成と恵庭市 YouTube チャンネルへの公開、ゼロカーボンラジオ CM の作成と放送等を実施しました。

・啓発動画制作

- 「恵庭市のゼロカーボンシティへの取組み（シン・えにわん産業祭 2 0 2 2 ブース出展編）」
- ・ラジオ CM 作成「恵庭市ゼロカーボンシティラジオ～事業者インタビュー」

